

令和元年10月期 学長記者懇談会

1. 日 時：令和元年10月24日（木） 14：00～15：00

2. 場 所：大学本部棟 2階 第二会議室

3. 懇談事項等

- ① 教職大学院の厚生労働省「専門実践教育訓練指定講座」指定について・・・資料1
(説明者：教育学研究科 吉田 安規良 教授)
- ② 産学連携によるSDGsカードゲーム体験会の開催について・・・資料2
(説明者：国際地域創造学部 平野 典男 教授)
- ③ 令和元年度沖縄バリアフリーキャンパス研究会の開催について・・・資料3
(説明者：障がい学生支援室 古川 卓 室長)
- ④ 台湾協定校・琉球大学連絡会の開催について・・・資料4
(説明者：鈴木 直 総合企画戦略部 国際連携推進課長)
- ⑤ 附属図書館・博物館による中城村での企画展について・・・資料5
(説明者：佐藤 秀 附属図書館 情報サービス課長)
- ⑥ 第6回琉球大学ホームカミングデーの開催について・・・資料6
(説明者：湧川 均 総務部総務課長)
- ⑦ 地域公共人材の資格制度「初級地域公共政策士」資格プログラムの開講について
・・・資料7
(説明者：地域連携推進機構 地域連携企画室 畑中 寛 特命准教授)
- ⑧ 「水の環でつなげる南の島の暮らし」プロジェクトのサイエンスアゴラへの出展に
ついて・・・資料8
(説明者：研究推進機構 研究企画室 押海 圭一 主任 URA)
- ⑨ 日本経済新聞社による大学の「地域貢献度」調査結果について・・・資料9
(説明者：牛窪 潔 理事・副学長)

4. 出席者：(予定)

西田学長、牛窪理事・副学長(地域・社会連携担当)、吉田教育学研究科教授、平野国際地域創造学部教授、古川障がい学生支援室長、鈴木国際連携推進課長、佐藤情報サービス課長、湧川総務部総務課長、畑中地域連携企画室特命准教授、押海研究企画室主任 URA、大嶺国際地域創造学部総務係長、松村障がい学生支援室員、富田附属図書館保存公開係長、知花総務部総務課総務係長、金城地域連携推進課長、金城地域連携推進課企画係主任、高橋人文社会学部准教授、久保人文社会学部准教授、Razafindrabe 農学部准教授、安元農学部助教、金城企画調整役(広報担当)

2019年10月から琉球大学教職大学院は、厚生労働省の専門 実践教育訓練の指定講座に認定されました！

専門実践教育訓練の指定講座に認定されると…

働く方の主体的な能力開発の取組み又は中長期的なキャリア形成を支援するため、一定の条件を満たす雇用保険の被保険者（在職者）または被保険者であった方（離職者）が、受講者本人がハローワークへ申請することにより、教育訓練施設に支払った経費（受講料等）の一部が、ハローワークより給付されます。なお、この手続きは、原則として受講開始日の1ヶ月前までに行う必要がありますので、ご留意下さい。

例えば、現職教員の場合、雇用保険の被保険者である国立や私立の教員が対象となります。

申請した際の給付例…

1年前期	（入学料 282,000 円＋授業料 267,900 円）×50%	=274,950 円
1年後期	授業料 267,900 円 ×50%－8,900 円	=125,050 円
2年前期・後期	授業料 267,900 円 ×50%	=133,950 円

年間の給付額上限が 40 万円となっているので、1年後期は調整（－8,900 円）があります。なお、実際に支払った金額が給付の対象となりますので、インセンティブ等で授業料免除になった場合、その分については給付の対象となりません。

※専門実践教育訓練の給付金のご案内は[こちら](#)（PDF）

※詳細については、居住先を管轄するハローワークにお問合せ下さい。

※ハローワークや厚生労働省の HP でも制度についてご確認いただけます。

ハローワークHP：https://www.hellowork.go.jp/insurance/insurance_education.html

厚生労働省HP：https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html

仕事のスキルアップ・資格取得をめざす皆さまへ

専門実践教育訓練の給付金のご案内

「専門実践教育訓練給付金」と「教育訓練支援給付金」の申請手続き

専門実践教育訓練での「教育訓練給付金」制度とは

働く人の主体的で、中長期的なキャリア形成を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。

一定の条件を満たす雇用保険の被保険者（※）（在職者）、または被保険者であった方（離職者）が、厚生労働大臣の指定する専門実践教育訓練を受講し修了した場合、本人が教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定の割合額（上限あり）をハローワークから支給する制度です。

※ 被保険者とは、一般被保険者及び高年齢被保険者をいいます。以下、このリーフレットにおいて同じです。

専門実践教育訓練での「教育訓練支援給付金」制度とは

専門実践教育訓練の教育訓練給付金を受給される方のうち、昼間通学制の専門実践教育訓練を受講しているなど、一定の要件を満たした方が**失業状態**にある場合に、訓練受講をさらに支援するため、雇用保険の基本手当の日額の80%に相当する額（※）をハローワークから支給する制度です。

※ 平成29年12月31日以前に受講開始した専門実践教育訓練の教育訓練支援給付金は、雇用保険の基本手当の日額の50%に相当する額になります。

専門実践教育訓練では、業務独占資格・名称独占資格の取得を訓練目標とする講座、専門学校での職業実践専門課程、専門職大学院など、中長期的なキャリア形成を支援する講座を厚生労働大臣が指定しています。（4ページ参照）。

指定内容は、『厚生労働大臣指定専門実践教育訓練講座一覧』としてまとめています。

お近くのハローワークで閲覧できるほか、インターネットの教育訓練給付制度 厚生労働大臣教育訓練講座検索システム（http://www.kyufu.mhlw.go.jp/kensaku/T_K_kouza）でもご覧になれます。

教育訓練給付制度

検索

<ご注意>

支給申請は正しく行ってください。偽りその他不正の行為によって教育訓練給付金や教育訓練支援給付金の支給を受けたり、受けようとした場合は、教育訓練給付金や教育訓練支援給付金を受けることができなくなり、**不正に受給した金額の返還に加えて返還額の2倍の金額の納付**を命じられ、**詐欺罪として刑罰に処せられる**ことがあります。

また、不正の行為があるにもかかわらず、ハローワークからの教育訓練給付についての**調査・質問に虚偽の陳述をした場合は納付命令の対象**となることがあります。

不正受給した受講開始日前の被保険者であった期間もなかったものとみなされるので、以後一定期間は他の教育訓練の受講についても教育訓練給付金を受けることができなくなります。

また、教育訓練支援給付金も要件を満たさなくなるので、支給は受けられなくなります。

教育訓練講座の運営等について不審な事案を発見した場合は、最寄りのハローワークに通報・ご相談ください。



厚生労働省・都道府県労働局・ハローワーク

LL300801保07

産学連携による SDGs カードゲーム体験会の開催について

琉球大学国際地域創造学部では、この度 OTS サービス経営研究所の協力を得て、講義科目「観光とサステナビリティ」において、1 年次学生を対象に、2030SDGs カードゲームの体験会を実施する。

SDGs (Sustainable Development Goals ; 持続可能な開発目標) とは、2015 年 9 月の国連サミットにおいて採択された、2030 年までの国際開発目標のことで、「Leave no one behind (誰一人取り残さない)」という考えのもと、深刻化する環境や貧困の問題をはじめとする地球規模の課題に全世界が取り組むことによって、より良い国際社会の実現を目指すものである。琉球大学は、その趣旨に深く賛同し、本年 6 月には、SDGs の達成に貢献する活動に取り組み、様々なパートナーと積極的に連携し、持続可能な社会の実現に向けて行動する旨を学長メッセージとして発信しており、その達成に向けて、学生と教職員が一体となって環境と社会の持続可能性に配慮した教育・研究・社会貢献及びキャンパスマネジメント活動を行っている。

「観光とサステナビリティ」は、国際地域創造学部の 1 年次学生を対象とした講義科目 (本年度の受講者 : 102 名) で、初学者に、持続可能な観光や SDGs、ESG (環境・社会・ガバナンスにより企業を評価しようとする考え方) 等についての基本的かつ本質的な概念の理解を深めることを目標としている。

今回、本講義において 2030SDGs カードゲームを実施することには、学生がゲームを通じて、能動的に学修することにより、より深く SDGs の本質を理解してもらい狙いがある。2030SDGs カードゲームは、現在から 2030 年までに SDGs の 17 の目標を達成するためのプロセスを楽しく体験できる日本発のカードゲームであり、国際連合本部を始め、自治体、企業、団体、学校などでも幅広く体験会が開催されている。近年は、沖縄県内においても、県庁や各種団体、企業などで体験会が開催されているが、大学で 100 人規模の学生を対象に実施するのは県内初めての試みである。

今回の体験会の開催に当たっては、沖縄ツーリスト株式会社及び OTS サービス経営研究所の全面協力をいただき、SDGs カードゲーム公認ファシリテーターの金城弘毅氏をお招きして、下記のとおり実施する。

記

開催日時 2019 年 11 月 9 日 10 : 00-13 : 00 (1 回目)、14 : 00-17 : 00 (2 回目)
(各回約 50 名ずつ、2 回に分けて開催)

場所 琉球大学附属図書館本館 2 階 ラーニングcommons

ファシリテーター 金城 弘毅 (OTS サービス経営研究所 クリエイティブセッション課次長)

以上

産学連携によるSDGsゲームの開催について

2019.10.24

国際地域創造学部 平野典男

- 沖縄ツーリスト、OTSサービス経営研究所の協力を得て、国際地域創造学部*の講義科目「観光とサステナビリティ」で、**1年次学生を対象に2030SDGsカードゲームを実施**する。
- 学生がゲームを通じて、能動的に学修することにより、より**深くSDGsの本質を理解**してもらう点に狙いがある。
- 大学で**100人規模の学生を対象に実施するのは県内初めての試み**である。

要旨

*グローバルな視野を持ち、産業、地域および文化の振興と多様化する地域課題の解決を担う実践的な能力を有する人材の育成を目標に、2018年4月に設立された。



持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)
持続可能な開発のための17のグローバル目標と
169のターゲット(達成基準)からなる国連の開発目標。

持続可能な開発目標(SDGs)



グローバル目標(17項目)

本学は、建学の精神である自由平等・寛容平和を継承・発展させた3つの基本理念、すなわち「真理の探究」「地域・国際社会への貢献」「平和・共生の追求」のもと、「地域と共に豊かな未来社会をデザインする大学」でありたいと願っています。

2015年9月の国連サミットにおいて採択された「持続可能な発展のための2030アジェンダ」に記載された持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals; SDGs) は、「Leave no one behind (誰一人取り残さない)」という考えのもと、深刻化する環境や貧困の問題をはじめとする**地球規模の課題に全世界が取り組むことによって、より良い国際社会の実現を目指すもので、本学もその趣旨に深く賛同するものです。**

本学は、**SDGsの達成に貢献する活動に取り組み、様々なパートナーと積極的に連携し、持続可能な社会の実現に向けて行動します。**

2019年6月
国立大学法人琉球大学
学長 西田 睦

琉球大学の取り組み

- 国際地域創造学部 1年次対象科目
- 受講者 102名
- 持続可能な開発やその下位概念である持続可能な観光、SDGs等に関する**基本的な概念を理解**させる。
- 持続可能な観光の実現のためには、環境、経済、地域社会の適切なバランスを保つことが重要であることを**具体的な事例を以て示す**。
- グループディスカッション、ワークシートによる作業など、学生が主体的に関わり、対話的な要素と深い学びを追究する**アクティブラーニングの方法**を取り入れている。

観光とサステナビリティ

- SDGsの17の目標を達成するためのプロセスを楽しく体験できる日本発（一般社団法人イマコラボが開発）のカードゲーム。
- 異なる価値観をもった参加者が、時間とお金を使って、プロジェクトを実行すると、世界の状況（経済・社会・環境）が刻々と変化し、2030年の社会があらわれてくる。
- ゲームを通じて、経済、環境、社会のつながりの大切さに気付き、SDGsがなぜ必要なのか理解できる。

2030SDGsゲーム



開催日時

2019年11月9日 10:00-13:00(1回目)

14:00-17:00(2回目)

(約50名づつ、2回に分けて開催)

場所

琉球大学図書館ラーニングコモンズ

公認ファシリテーター

金城 弘毅

OTSサービス経営研究所クリエイティブセッション課次長

開催内容の詳細

令和元年度沖縄バリアフリーキャンパス研究会
～障がいや病気のある学生の就職活動支援～
開催要項

1. 目 的

平成28年から施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に基づき、大学においても、障がいのある学生に対する「不当な差別的取り扱いを禁止」し、「合理的配慮の提供」を行うことが求められています。

琉球大学におきましても、障がいや病気のある学生に対する修学支援等を目的として、平成28年6月に障がい学生支援室を設置し、関係規程の整備をはじめ、学内における支援体制の構築を図るとともに、沖縄県内の高等教育機関で構成する「沖縄地区大学等バリアフリー推進協議会」を開催し、各大学等との連携・情報共有を図ってきたところです。

障がい学生支援室への相談件数が年々増加する中で、就職活動に関する相談事も寄せられており、在学中の修学支援にとどまらず本人の卒業後を視野に入れた、障がいや病気のある学生にとってのより良い就職活動を支援していくことも、支援室の大きな役割の一つであると考えます。

障がい学生支援室では昨年度に引き続き、県内高等教育機関等の支援に携わる教職員に対する研修も兼ねまして、今年度は「就職活動支援」をテーマにFD・SDによる意識の啓発推進を図ります。また、障がいや病気のある学生の就職活動における県の問題点・課題点を、協議会メンバーをはじめとする関係者間で共有し、具体的な支援策を探ることで、障がいや病気のある学生が積極的に就職活動を展開し、キャリア形成が可能となる環境を整えていくきっかけを作ることが目的とします。

2. 日 時 令和元年12月9日（月）13：30～16：30

3. 会 場 琉球大学50周年記念館多目的室AB

4. 対象者 沖縄県内の高等教育機関の教職員

（学生相談担当者及び障がい学生支援を担当する教職員）

琉球大学の教職員（特に障がい学生支援室及び学部等窓口支援担当者）

大学生・保護者・企業（人事担当者）

その他障がい学生支援に関心のある方

5. 主 催 琉球大学障がい学生支援室

6. 後 援 沖縄県教育委員会（予定）

沖縄県社会福祉協議会（予定）

令和元年度沖縄バリアフリーキャンパス研究会

プログラム

【 テ ー マ 】 障がいや病気のある学生の就職活動支援

【 開 催 日 時 】 令和元年12月9日(月) 13:30～16:30

【 会 場 】 琉球大学50周年記念館多目的室 AB

【プログラム】

13:30～13:35_開会挨拶 ※登壇者調整中 (5分間)

13:35～14:35_講演会① 川人 誠 氏 (60分間)

(就職情報誌「クローバー」株式会社ジェイ・ブロード大学担当取締役)

「障がいや病気のある学生の就職活動に向けた環境づくり～現状を踏まえて～」

(14:35～14:50 質疑応答 15分間)

14:50～15:00_休憩 (10分間)

15:00～16:00_講演会② 根木 佐知子 氏 (60分間)

(NHK 福岡放送局企画総務部)

「私の就職活動を振り返って ～学生・支援者へ伝えたいこと～」

16:00～16:05_閉会挨拶 古川 卓 障がい学生支援室長 (5分間)

16:05～16:30_川人氏による個別相談会

※時間帯は変更になる可能性があります

令和元年 12月9日(月) 13:30~16:30

琉球大学障がい学生支援室

障がいや病気のある学生の 就職活動支援を考える。

保護者の方ぜひ
ご参加下さい!

沖縄 バリアフリー キャンパス 研究会

入場
無料

会場
琉球大学
50周年記念館



map

琉

球大学障がい学生支援室には学生生活の相談だけでなく、就職に関する相談も日々寄せられます。学生の卒業後を視野に入れた支援の必要性から、今年度は「障がいや病気のある学生の就職活動支援」をテーマに研究会を開催します。

講演者に障がいのある学生向けの就職情報誌「クローバー」大学担当、また NHK に勤める車椅子利用の方をお招きし、現場でご活躍される中での話を伺います。

県内の障がいや病気のある学生が抱える就職活動の壁を認識し具体的な支援策を探ることで、障がいや病気のある学生が積極的に就職活動を展開し、職業選択のできる環境を整えるきっかけになればと思います。

当事者や保護者の方を含め、ぜひ多くの方々のご参加をお待ちしています。

講演① 13:35~14:35

(質疑応答14:35~14:50)

かわひと まこと

川人 誠氏

就職情報誌「クローバー」
株式会社ジェイ・ブロード大学担当取締役

「障がいや病気のある学生の
就職活動に向けた環境づくり
～現状を踏まえて～」



講演② 15:00~16:00

ねぎ さちこ

根木 佐知子氏

NHK 福岡放送局企画総務部

「私の就職活動を振り返って
～学生・支援者へ伝えたいこと～」

※研究会終了後、川人氏による個別相談会を開催します。
ご希望の方は事前申し込み下さい。応募多数の場合は
先着順となります。

●●● お申し込みはこちら! ●●●



左の QR コードからフォームにてお申し込みいただくか、お名前・ご住所・ご所属・ご連絡先を下記(電話・FAX・メール)までご連絡下さい。

● 琉球大学障がい学生支援室

TEL: 098-895-8750 FAX: 098-895-8791 g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp

後援/沖縄県教育委員会(予定)
沖縄県社会福祉協議会(予定)
主催/琉球大学障がい学生支援室



FAX 送信先 098-895-8791 (琉球大学障がい学生支援室)

令和元年度沖縄バリアフリーキャンパス研究会 参加申込書

日時：令和元年 12 月 9 日 (月) 13:30~16:30

会場：琉球大学 50 周年記念館多目的室 AB

フリガナ								
お名前								
ご所属 分野に○を 記入し 所属名を 記載下さい。	教育	福祉	就職関連	企業(一般)	企業(人事)	学生	保護者	その他
	所属機関名							
ご連絡先	電話番号				メールアドレス			

障がい等ある場合、参加にあたって必要な配慮をご記入下さい。

講師への相談・質問がありましたらご記入下さい。

※会終了後の個別相談をご希望の方はその旨記載下さい。

個別相談は応募多数の場合、先着順となりますことをご了承下さい。

【問い合わせ・申込先】 国立大学法人琉球大学障がい学生支援室

TEL：098-895-8750 FAX：098-895-8791

MAIL：g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp

※ご記入いただいた内容は本事業に関する目的以外に使用することはありません。

台湾協定校・琉球大学連絡会の開催について

【旅 程】令和元年9月28日(土)

【目 的】

今回の台湾訪問は、台湾協定校・琉球大学連絡会を開催し、よりクリエイティブな教育交流の実現に向けた教員間の交流を促進することを目的としたものである。

【本学参加者】

喜納 育江学長補佐(ダイバーシティ担当)、国際地域創造学部教授
金城 ひろみ 台北サテライトオフィス部会長、人文社会学部准教授
王 怡人 台北サテライトオフィス部会員、国際地域創造学部教授
大内 元 台北サテライトオフィス部会員、医学部附属病院 特命講師
武田 昌則 台北サテライトオフィス部会員、法務研究科教授
鈴木 直 国際連携推進課長
幸野 友子 国際連携推進課課長代理
早野 育子 国際連携推進課国際連携推進係長
許翼軒(シュ イシュエン) 台北サテライトオフィススタッフ

【参加大学】

大学間交流協定校(以下8大学)

(国立台湾海洋大学、東海大学、国立澎湖科技大学、開南大学、台北城市科技大学、中国文化大学、国立東華大学、東呉大学、逢甲大学)

部局間交流協定校(以下3大学)

(国立雲林科技大学、文藻外語大学、国立金門大学)

協定締結を希望している大学

(静宜大学)

本学は、台湾との学術交流を積極的に推進しており、本学における国・地域別での協定校数では最多となる。また、台湾と沖縄は、地理的、気候的、文化的に近く、本学にとって台湾は重要な国際交流拠点地域の1つであることから、相互の関係を強固にすることは、今後の更なる大学間交流の発展に不可欠である。こうしたビジョンのもと、9月28日(土)台北市 集思台大會議中心において、台湾協定校・琉球大学連絡会を開催した。

本連絡会には、協定校11校、及び協定締結を希望している大学1校、総勢35名の参加があり、第1部では、「よりクリエイティブな教育交流の実現に向けた教員間の交流」というテーマのもと、本学の紹介、本学各教員の紹介、及び各協定校の紹介のプレゼンテーションを行い、第2部では自由懇談を行った。

本連絡会を開催したことにより、各協定校関係教職員の本学への理解が深まり、また本学台北サテライトオフィス部会委員の各協定校への理解が深まった。さらに、本学教職員と協定校教職員が懇談することにより、よりクリエイティブな教育交流の実現に向け、有益な意見交換をすることができた。

加えて、今回の台湾訪問により、静宜大学との交流協定締結に向けた学術交流等について、また部局間交流協定を締結している国立金門大学との大学間交流協定締結に向けた学術交流等について、確認された。



【台湾協定校・琉球大学連絡会】参加者との記念撮影



【台湾協定校・琉球大学連絡会】大学紹介等に関き入る参加者



【台湾協定校・琉球大学連絡会】喜納育江学長補佐 教育・研究紹介



【台湾協定校・琉球大学連絡会】金城ひろみ准教授 教育・研究紹介



【台湾協定校・琉球大学連絡会】王怡人教授 教育・研究紹介



【台湾協定校・琉球大学連絡会】大内元特命講師 教育・研究紹介



【台湾協定校・琉球大学連絡会】武田昌則教授 教育・研究紹介



【台湾協定校・琉球大学連絡会】鈴木直国際連携推進課長挨拶



【台湾協定校・琉球大学連絡会】自由懇談



【台湾協定校・琉球大学連絡会】

本学卒業生、元交換留学生、サテライトオフィススタッフ

琉球大学と台湾の大学との交流実績

2019年7月23日現在

台湾の大学との交流協定締結状況

大学間協定校(14校)

大学名	設置形態	地域	締結(更新)年月日		協定の目的		学生交流費書(授業料不徴収含む)の有無	交換学生上限数
					学術交流	学生交流		
1 国立台湾大学※1	国立	台北市	2003年4月2日	締結	○	○	有	5
2 國立台湾海洋大学	国立	基隆市	2005年11月9日	締結	○	○	有	2
3 國立中山大学※2	国立	高雄市	2007年12月4日	締結	○	○	有	5
4 東海大学	私立	台中市	2012年9月4日	締結	○	○	有	5
5 国立台南大学	国立	台南市	2016年9月1日	締結	○	○	有	2
6 国立澎湖科技大学	国立	澎湖県馬公市	2016年9月2日	締結	○	○	有	3
7 開南大学	私立	桃園市	2018年5月25日	締結	○	○	有	3
8 台北城市科技大学	私立	台北市	2018年11月19日	締結	○	○	有	5
9 中原大学	私立	桃園市	2018年12月10日	締結	○	○	有	4
10 中国文化大学※3	私立	台北市	2018年12月28日	締結	○	○	有	3
11 国立東華大学	国立	花蓮市	2019年1月29日	締結	○	○	有	年間2名または1 Semester-4名
12 東呉大学	私立	台北市	2019年1月30日	締結	○	○	有	2
13 逢甲大学	私立	台中市	2019年3月11日	締結	○	○	有	2
14 国立台湾科技大学※4	国立	台北市	2019年3月20日	締結	○	○	有	5

※1 国立台湾大学は、部局間交流協定(医学部、工学部)を大学間交流協定に格上げして締結

※2 國立中山大学は、部局間交流協定(法文学部)を大学間交流協定に格上げして締結

※3 中国文化大学は、部局間交流協定(理学部)を大学間交流協定に格上げして締結

※4 国立台湾科技大学は、部局間交流協定(工学部)を大学間交流協定に格上げして締結

部局間協定校(4校)

大学名	国・地域名	地域	締結(更新)年月日		協定の目的		学生交流費書(授業料不徴収含む)の有無	交換学生上限数	締結学部
					学術交流	学生交流			
1 国立雲林科技大学(国際事務局)	国立	雲林県斗六市	2005年9月21日	締結		○	有	5	国際教育センター
2 台北医学大学(医学院)	私立	台北市	2014年2月18日	締結	○		無	-	医学部
3 文藻外語大学	私立	高雄市	2016年1月8日	締結	○	○	有	2	国際教育センター
4 国立金門大学(経営学部)	国立	金門県	2019年3月8日	締結予定	○	○	有	2	国際地域創造学部



下線は部局間交流協定校

海外拠点の設置



【第3期中期目標・中期計画】(H28～33年度)

34. 亜熱帯・熱帯、島嶼・海洋、琉球・沖縄文化、健康・長寿の分野における国際共同研究を促進したり留学生の受入・派遣を拡大するため、アジア・太平洋地域に5カ所以上の海外拠点を設置する。

《海外拠点設置の目的》

本学の海外における教育研究活動並びに教育研究活動を通じた国際連携の推進

- (1) 学生及び帰国留学生並びに教員及び事務職員等の交流の促進及び支援
- (2) 海外の大学及び研究機関等との連携による教育研究活動の促進及び支援
- (3) 本学の教育研究等に関する情報発信及び留学生受入れのための促進及び支援

《海外拠点の主な活動内容》

- 交換学生の受入れ・派遣を含む学生交流の促進
- 教員、事務職員等の交流の促進
- 国際共同研究等研究交流の促進
- 協定大学、現地機関等との連携による教育研究活動の促進
- 本学の教育研究等に関する情報発信及び留学生受入れの促進
- 帰国留学生との交流の促進

1

台北サテライトオフィス



- サテライトオフィス所在地：
台湾台北市中山区松江路148号
盛香堂大楼4階 E室
沖縄県産業振興公社台北事務所内
(公社台北事務所の一部使用)
- 開設時期：平成28年5月開設

《台北サテライトオフィス》※詳細別紙参照

【体制】オフィススタッフ(本学卒業生)配置
※1日6時間週3日勤務

【主な活動予定】

- 学生交流・短期研修等の支援
- 教員訪問等研究交流の支援
- 留学生受入促進活動の支援(留学フェア参加等)
- 台湾の大学等との交流促進
- 合同シンポジウム開催等

【オフィススタッフ】

許翼軒(キョウケン)
※2015年9月～2016年8月本学交換留学の経験有
※2018年6月1日よりオフィスで勤務開始



台北サテライトオフィス開所式



オフィス入口

2

【今後の予定】

- 東呉大学・琉球大学共催「中国語スピーチコンテスト」(日本国内の高校生等対象)
開催予定：2019年11月30日(土)琉球大学
- 海外文化研修(中国語)
台湾・協定大学において中国語や台湾の文化等の学習を目的とした研修を実施。(全学部対象)
開催予定：2019年8月末～9月中旬(2週間)
- 本学教員と台湾協定大学教員等との交流会(2019年9月28日)
台湾の協定大学との今後の教育・研究交流の促進を目的とした交流会を台北にて開催

令和元年度 琉球大学附属図書館・琉球大学博物館（風樹館）企画展

いまとむかしの中城

～琉球大学資料にみる自然・文化・人～

場所：中城村護佐丸歴史資料図書館

2019年

11月1日(金)～11月18日(月)

開催初日(11月1日)10時半からオープニングセレモニー、ギャラリートーク(展示説明会)を予定しています

開場時間：午前10時～午後5時(入場は午後4時30分まで、初日は10時半から)

休館日：11月5日(火)、11月6日(水)、11月12日(火)

◆講演会

①11月4日(月) 午後2時～3時30分

演題：琉大千原キャンパスの歴史と人々の暮らし

講師：仲間勇栄(琉球大学名誉教授)

②11月10日(日) 午後2時～3時30分

演題：戦後引揚の地 久場崎～住民発信型の地域史を目指して～

講師：中村春菜(琉球大学人文社会学部講師)

入場無料

予約不要

本企画展(講演会等を含む)はすべて予約不要・入場無料です

主催：琉球大学附属図書館 琉球大学博物館(風樹館)

共催：中城村教育委員会 中城村護佐丸歴史資料図書館

後援：中城村

問合せ先：琉球大学附属図書館 情報サービス課 保存公開係

E-Mail: tsokinawa@acs.u-ryukyu.ac.jp TEL.098-895-8697

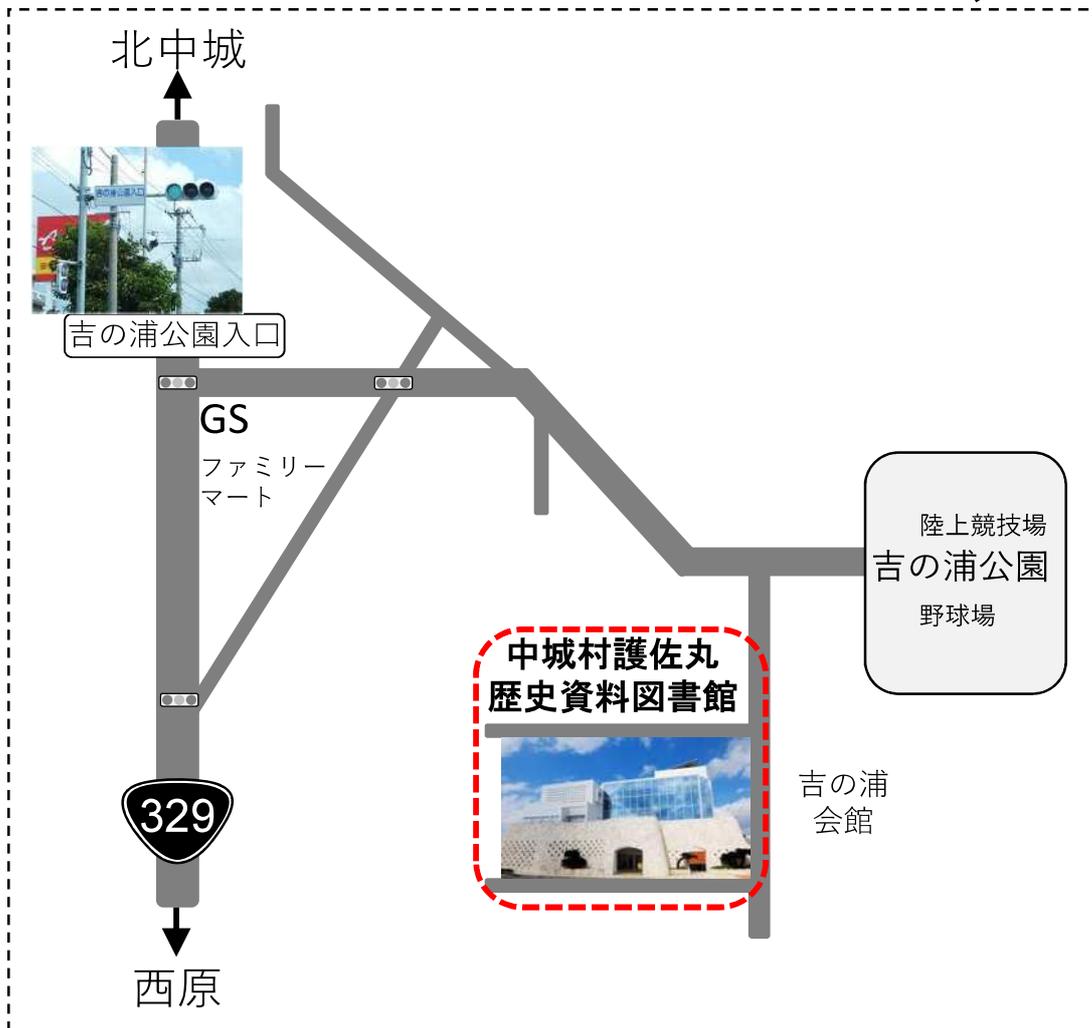
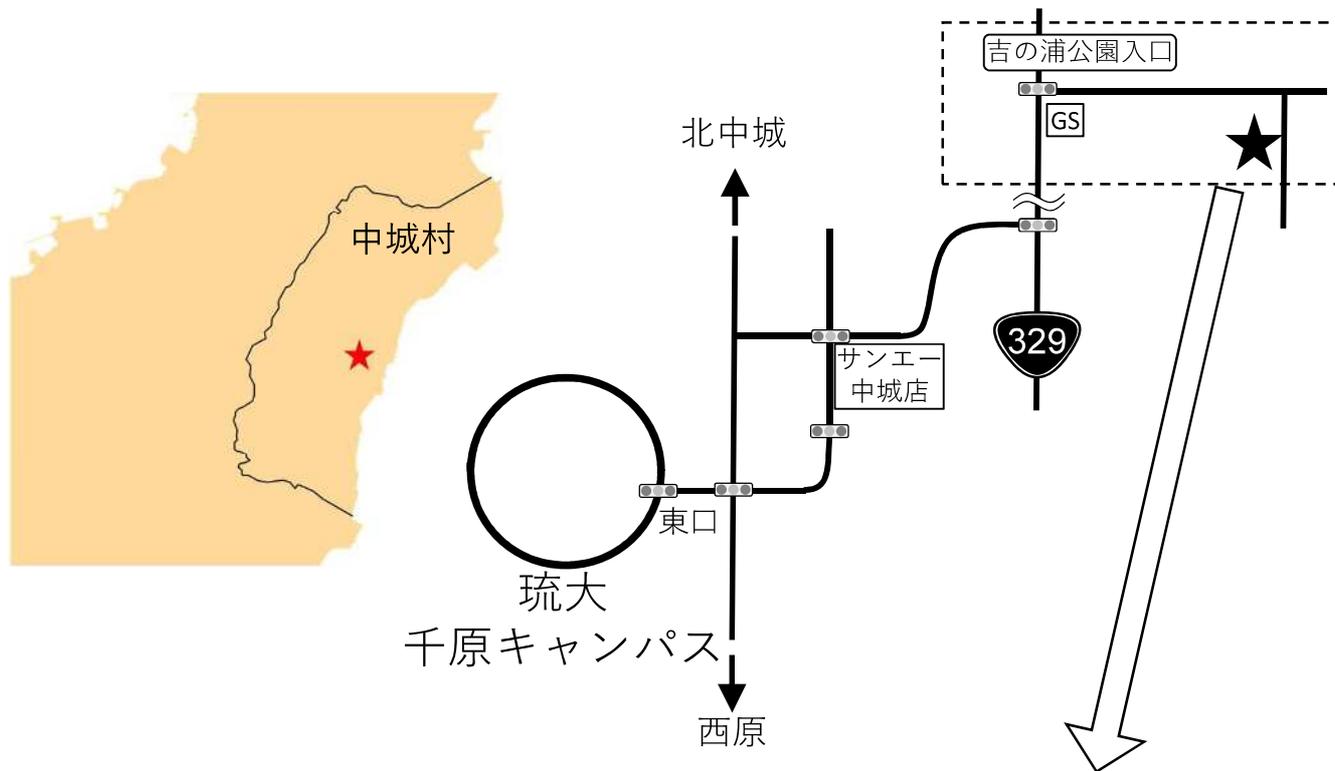
中城村護佐丸歴史資料図書館

TEL.098-895-5302

琉球大学附属図書館 Web ページ：<http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp>



開催会場：中城村護佐丸歴史資料図書館
中城村字安里215番地





UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

第6回 琉球大学 ホームカミングデー

the 6th Homecoming day

琉球大学卒業生の皆さまが、旧友との楽しいひとときを過ごし、世代を超えた新しい交流を築かれるとともに、琉球大学の「今」を知っていただくことを目的として、ホームカミングデーを企画しました。琉球大学一同、全ての卒業生・修了生の皆さまをお待ちしています。在学生、一般の方もお気軽にご参加ください。

令和元年

11/23

土・祝
13:00～(受付開始12:30)

入場
無料

場所

講演等……………
琉球大学 全保連ステーション
(大学会館) 3階 特別会議室
懇親会……………
琉球大学 生協 中央食堂

スケジュール

12:30～ 受付開始
13:00～ 開会・学長挨拶
13:10～ 留学生及び同窓生による発表等
13:40～ 琉大の研究紹介
14:00～ 比嘉俊次氏講演会
15:10～ 懇親会【生協 中央食堂】
(16:00終了予定)

講演会「琉大で学んだこと」

講師：比嘉 俊次氏

RBC琉球放送(株)報道制作局専任局長。
「RBC ザ・ニュース」では木曜と金曜のメインキャスターを担当。スタジオからニュースを伝えるのみならず、現場取材もこなしている。モットーは「やりたいことをやる」。
平成8年 琉球大学法文学部社会学科卒業。



キーワード検索



アクセス お問い合わせ

琉球大学 地域連携推進機構



琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

地域連携推進機構について	地域連携企画室	産学官連携部門	生涯学習推進部門	COC・COC+
--------------	---------	---------	----------	----------

「初級地域公共政策士」資格プログラム

ホーム > 地域連携企画室 > 目的別人材育成プログラム（公開講座・公開授業）について > 「初級地域公共政策士」資格プログラム

「初級地域公共政策士」資格プログラム

「地域公共人材」の資格制度

「初級地域公共政策士」資格取得のための科目履修プログラムを開講

自治体職員、NPO関係者、公共に関わる企業の担当者等を対象に、「地域公共人材*」として資格取得を目指す受講生を募集します！

琉球大学では、「沖縄産学官協働人材育成円卓会議」の提言を受け、新たな価値を創造できる人材や国際性豊かな人材の育成に向けた「目的別人材育成プログラム」（19科目）を社会人向けに開講しています。この度、その中の6科目が一般財団法人地域公共人材開発機構の資格制度「初級地域公共政策士」の認証科目に認定されました。

「初級地域公共政策士」とは、自治体職員、NPO関係者、公共に関わる企業の担当者等を対象に、「地域公共人材」として地域課題解決に対する実務的なプロジェクトスタッフやプロジェクトのサブリダーとしての実践的能力を認定する職能資格制度です。また、認定を受けた大学の正規科目（授業）が認証科目となっていることが特色です。

この度、琉球大学では社会人向けに「初級地域公共政策士」資格取得のための科目履修プログラムを開講いたします。

*地域公共人材：協働型社会において、地域社会の共通課題の解決のために、職業やセクター、組織という分断の壁を乗り越えて、パートナーシップを結びながら、協働できる担い手。

◆「初級地域公共政策士」資格取得科目履修プログラム 案内チラシ(PDF)

琉球大学共通教育科目（全て「公開授業」として社会人に開放）					初級地域公共政策士認証科目		
No.	科目名 クリックするとシラバスを御覧いただけます。	開講日時 ※日程一覧は こちら	場所	担当講師	科目カテゴリー	選択・必修	ポイント
1	地域円卓会議マネジメントの技法と実践	10月26日(土)、10月27日(日)、 12月21日(土)、 2月1日(土)、2月2日(日) ※時間はいずれも12:50～17:50	琉球大学 地域国際学習センター 301,203講義室	平良斗星 (非常勤講師)、他	「政策研究の基礎知識」	必修	2
2	政策立案能力強化プログラム	10月12日(土)～14日(祝・月) ※時間はいずれも8:30～17:50	琉球大学 地域国際学習センター301 講義室	島袋純(教育学部教授)、他		必修	2
3	社会的インパクト投資基礎概論	12月25日(水)～28日(土) ※時間はいずれも10:20～17:50	琉球大学文系新棟 111教室(予定)	高畑明尚 (国際地域創造学部教授)	「政策の得意分野づくり」 【科目グループ】ソーシャルファイナンス	必修	2
4	クラウドファンディング実践講座	10月5日(土)、10月19日(土)、 11月2日(土)、11月16日(土)、 12月1日(日) ※時間はいずれも12:50～17:50	琉球大学 地域国際学習センター 301,304講義室	畑中寛(地域連携推進機構准教授)、他		必修	2
5	ファシリテーションの技法と	11月9日(土)、12月7日(土)、	11/9:地域創生総	平井雅(非	「政策基礎としての社	選択	2

	地域振興	12月8日(日)、12月15日(日)、 1月18日(土) ※時間はいずれも12:50～17:50	合研究棟、1/18： 医学部臨床研究棟 大学院セミナー室、 それ以外：地域国 際学習センター301 講義室	常勤講師)	会人基礎力)		
6	地域企業（自治体）のお題解決プログラム	火曜日・5限目（16：20～17：50） 初回授業日／10月1日（火）	琉球大学 地域国 際学習センター301 講義室	松本剛（理 学部教授）		選択	2

【資格取得には】

「初級地域公共政策士」の資格取得には、上記プログラムを受講し、必修4科目と選択1科目の修了（合計5科目・10ポイント）が必要です。
 この他、一般財団法人地域公共人材開発機構（COLPU）が開講する「[初級特別講義（政策的思考）](#)」（eラーニング・2ポイント）の受講・修了が必要です。

（必須）

オリジナル教材「地域公共人材の地域社会における活躍とは？」（受講後レポートを提出）

（選択必修）

地方創生カレッジ「地域公共人材発展—地域公共政策士を目指して—」（全7回のうち2回を選択し、受講後レポートを提出）

なお、初級特別講義受講料5,400円、資格申請時に資格証明発行手数料3,240円が必要となります（消費税率8%時）。

【申込方法】

以下のメールアドレスに、

「①お名前（ふりがな） ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号 ⑥E-mail ⑦ご職業 ⑧選択科目（「ファシリテーションの技法と地域振興」、「**地域企業（自治体）のお題解決プログラム**」）のうち、受講を希望する科目名またはNo.」

の各項目を記載の上、メールのタイトルを「**初級地域公共政策士**」資格取得プログラムの受講を希望」として、メールをお送りください。琉球大学より、メールを受信後に受講料の案内などを返信します。

E-mail:chikikaku[at]acs.u-ryukyu.ac.jp ※メール送信の際は、【at】を@に置き換えて下さい。

【申込〆切】令和元年10月3日（木）17：00まで

【受講料】

今回の6つのプログラムは、琉球大学公開授業として実施します。5科目の受講を希望される場合には、6,780円（半期定額料金）となります。

また、半期定額料金をお支払いした場合には、追加料なしで他の公開授業を受講することも可能です。

詳しくは、2019年公開授業募集案内をご覧ください。（URL: https://ercll.u-ryukyu.narayun.jp/pdf/open-lecture2019_1.pdf）

【受講料の振込先】

振込先銀行 琉球銀行 宜野湾支店

口座番号 普通 430-384

口座名義 国立大学法人琉球大学

※受講料納付後は、払戻はできません。

※振込手数料は、受講者負担となります。

※入金の際は、ご依頼人名に受講者本人のお名前をご入力ください。

ご本人以外の名義でご入金される場合は、以下担当窓口へご連絡ください。

【担当窓口・問合せ】

琉球大学総合企画戦略部地域連携推進課 企画係

TEL:098-895-8998 E-mail:chikikaku[at]acs.u-ryukyu.ac.jp

地域公共政策士とは

政策課題に対してプロジェクトリーダーとしてチームマネジメント力を備えて、課題解決を遂行していく力を「資格」として獲得した人物。地域公共政策士は、異なる職業分野の垣根（セクター）を越えて、地域の公共的活動や政策形成をコーディネートし課題解決を導くことができ、こうした人と人の中にある公共を発信し、リードしていく人材として活躍していくことが期待されている。

この資格には、「初級地域公共政策士」（level.6学士レベル）と「地域公共政策士」（level.7修士レベル）の2種類があり、プログラムの難易度や学習時間が異なる。

2012年3月の地域公共政策士第1号が誕生以降、初級地域公共政策士283名、地域公共政策士27名を輩出している（2019年3月現在）。

【「地域公共政策士」資格教育実施機関】

京都大学、琉球大学、京都府立大学、福知山公立大学、同志社大学、京都産業大学、京都文教大学、京都橘大学、龍谷大学、佛教大学、京都府立林業大学校、グローバル人材開発センター

【地域公共政策士資格のねらいと養成する能力】

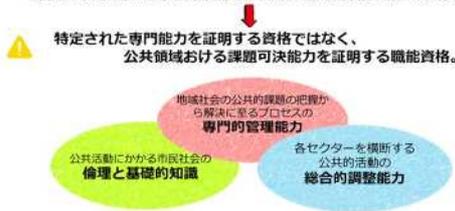
出典：COLPU「地域公共政策士資格制度に関する説明会」資料より

地域公共政策士資格のねらい

- ① 地域社会の課題解決にあたる人材「地域公共人材」の能力を証明する。
- ② 地域課題の解決に向けた地域公共人材の育成を通じてセクターを越えた産官学民との連携を促進する。
- ③ 米国キャプストーン教育プログラムと、欧州の教育と職能をつなぐ国際的フレームワークであるEQF（European Qualifications Framework）のそれぞれの長所を資格に組み込み、教育と職能を繋げたい。

地域公共政策士で養成する能力

「地域公共人材」の教育プログラムが育成の対象とする人材は、実際に働く場としては自治体、NPO、そして企業といったように多様であることを前提としており、その意味での職業性はゆるやかに捉えている。」



【初級地域公共政策士・資格制度の概要】

出典：COLPU「地域公共政策士資格制度に関する説明会」資料より

level.6 120 hours **初級地域公共政策士**

- ☑ 地域課題に対してプロジェクトスタッフやサブリーダーとしての能力養成を目指す。
- ☑ 学習アウトカムレベル6（知識、技能、職務遂行能力）
- ☑ 現場での学習を含め合計120時間の学習量を資格教育プログラムに求める。

初級地域公共政策士は、政策課題に対してプロジェクトスタッフやサブリーダーとして課題解決に向けて主体的に実践していく力を資格教育から獲得し、力を振舞います。

沖縄産学官協働人材育成円卓会議との連携について

沖縄産学官協働人材育成円卓会議との連携によるプログラム開発

【背景】
2013年12月14日、県内の高等教育機関、行政、企業、経済団体の関係者等約50人が出席し、従来の産学官連携の枠を超えた対話を通し人材育成に関する具体的なアクションを起こす機会とする目的で「沖縄産学官協働人材育成円卓会議」が設立。

沖縄産学官協働人材育成円卓会議（内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、市町村、県内企業、経済団体、支援機関、金融機関、高等教育機関、報道機関等の57機関により構成。会長は琉球大学西田睦学長）

【活動概要】

- (1) 沖縄社会における人材育成上の課題の抽出について
- (2) 沖縄社会として求める人材像のあり方の共有について
- (3) 産業界と高等教育機関、行政機関間における課題解決に向けた具体的なアクションプランの策定について
- (4) アクションプランの進捗状況等についての共有を通じた普及啓発活動の推進について
- (5) その他、本会議の目的を達成するために必要と認める事項について

| [アクセス](#) | [お問い合わせ](#) | [プライバシーポリシー](#) |

琉球大学 地域連携推進機構

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

Copyright© 琉球大学 地域連携推進機構 All Rights Reserved.

琉球大学 地域連携推進機構

キーワード検索



アクセス お問い合わせ


琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

地域連携推進機構について	地域連携企画室	産学官連携部門	生涯学習推進部門	COC・COC+
--------------	---------	---------	----------	----------

「初級地域公共政策士」資格プログラム（学生向け）

ホーム > 地域連携企画室 > 目的別人材育成プログラム（公開講座・公開授業）について > 「初級地域公共政策士」資格プログラム（学生向け）

「初級地域公共政策士」資格プログラム（学生向け）

「地域公共人材」の資格制度

「初級地域公共政策士」資格取得の共通教育科目等が開講

行政・NPO・福祉など、「公共」に関わる様々な職業を目指す学生に！

琉球大学では、「沖縄産学官協働人材育成円卓会議」の提言を受け、新たな価値を創造できる人材や国際性豊かな人材の育成に向けた「目的別人材育成プログラム」（19科目）の度、その中の6科目が一般財団法人地域公共人材開発機構の資格制度「初級地域公共政策士」の認証科目に認定されました。

「初級地域公共政策士」とは、自治体職員、NPO関係者、公共に関わる企業の担当者等を対象に、「地域公共人材」として地域課題解決に対する実務的なプロジェクトスタッフや一としての実践的能力を認定する職能資格制度です。

令和元年度から、本学学生が下記の共通教育科目及び専門教育科目の単位を取得することで、「初級地域公共政策士」資格の取得が可能となりました。

*地域公共人材：協働型社会において、地域社会の共通課題の解決のために、職業やセクター、組織という分断の壁を乗り越えて、パートナーシップを結びながら、協働できる担い手。

◆「初級地域公共政策士」資格プログラム（学生向け）案内チラシ(PDF)

「初級地域公共政策士」資格取得のための共通教育科目等（令和元年度後学期開講）				初級地域公共政策士認証科目		
科目番号	科目名 クリックするとシラバスを御覧いただけます。	曜日・時限 ※日程一覧は こちら	概要	科目カテゴリー	選択・必修	ポイント
総99	総合特別講義Ⅸ「地域円卓会議マネジメントの技法と実践」(「地域創生副専攻科目」)	5日集中・3～5時限 10月26日(土)、10月27日(日)、 12月21日(土)、 2月1日(土)、2月2日(日)	地域社会の課題の解決をめざす対話の場である「沖縄式地域円卓会議」のマネジメントを行える人材を育成するため、ケーススタディを中心に課題解決の手法を学修する総論的な内容を扱う。	「政策研究の基礎知識」	必修	2
琉95	琉大特色・地域創生特別講義Ⅴ「政策立案能力強化プログラム」(地域創生副専攻科目)	3日集中・1～5時限 10月12日(土)～14日(祝・月)	地域活性化及び地域経営の具体的な課題を発見し、現実に即した政策立案を実際に取り組む。		必修	2
経済424	経済政策特殊講義Ⅳ「社会的インパクト投資基礎概論」	4日集中・2～5時限 12月25日(水)～28日(土)	社会的インパクト投資の概論を踏まえた上でその方法の一つであるソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）について講義とグループワークにより具体的な進め方を実践的に学習する。	「政策の得意分野づくり」 【科目グループ】ソーシャルファイナンス	必修	2
総96	総合特別講義Ⅵ「クラウドファンディング実践講座」(地域創生副専攻科目)	5日集中・3～5時限 10月5日(土)、10月19日(土)、 11月2日(土)、11月16日(土)、 12月1日(日)	地域が抱える課題を解決するため新たな資金調達手法である「クラウドファンディング」という手法で商品開発、サービス提供などの事業プランニングの手法を学修する。		必修	2
総98	総合特別講義Ⅷ「ファシリテ	5日集中・3～5時限	地域振興及び地域課題解決に活か	「政策基礎としての社	選択	2

	ニシヨンの技法と地域振興」 （地域創生副専攻科目）	11月9日(土)、12月7日(土)、 12月8日(日)、12月15日(日)、 1月18日(土)	せるファシリテーションの考え方と技法 について座学とグループワークを通して 詳しく学ぶとともに、観光まちづくりの 動向についても座学と現場視察を行 う。	会人基礎力」		
C31	キャリア関係科目「地域企業 （自治体）のお題解決プロ グラム01組」（地域創生副 専攻科目）	火曜日・5時限	県内市町村(自治体)で行われる課 題解決プロジェクトにインターンとして 参加し、実際に課題解決にむけて活 動することで、これからの社会に求めら れる社会人基礎力やキャリア観の醸 成を図る。		選択	2

【資格取得には】

「初級地域公共政策士」の資格取得には、上記プログラムを受講し、必修4科目と選択1科目の修了（合計5科目・10ポイント）が必要です。

この他、一般財団法人地域公共人材開発機構（COLPU）が開講する「[初級特別講義（政策的思考）](#)」（eラーニング・2ポイント）の受講・修了が必要です。

（必須）

オリジナル教材「地域公共人材の地域社会における活躍とは？」（受講後レポートを提出）

（選択必修）

地方創生カレッジ「地域公共人材発展→地域公共政策士を目指して→」（全7回のうち2回を選択し、受講後レポートを提出）

なお、初級特別講義受講料5,400円、資格申請時に資格証明発行手数料3,240円が必要となります（消費税率8%時）。

【履修登録方法】

「初級地域公共政策士」資格取得のための共通教育科目等（令和元年度後学期開講）							
科目番号	科目名 クリックするとシラバスを御覧 いただけます。	単位	担当教員名	履修条件	募集対象及び人数	登録手続期間	申込
総99	総合特別講義IX「地域円 卓会議マネジメントの技法 と実践」(J)（地域創生副 専攻科目）	2	畑中寛（地域連 携推進機構）	全日程に参加できること。	1～4年次学生 30名	令和元年10月3日（木） ～10月15日（火）	教務情報システム「お知 育支援課窓口で申込名 入。履修登録確認表へ なるので、教育支援課に 支援課にて実施）。
琉95	琉大特色・地域創生特別 講義V「政策立案能力強 化プログラム」(地域創生 副専攻科目)	2	島袋純（教育学 部） 畑中寛（地域連 携推進機構）		1～4年次学生 30名	令和元年10月3日（木） ～10月11日（金）	教務情報システム「お知 育支援課窓口で申込名 入。履修登録確認表へ なるので、教育支援課に 支援課にて実施）。
経済 424	経済政策特殊講義IV「社 会的インパクト投資基礎 概論」	2	高畑明尚（国際 地域創造学部） 畑中寛（地域連 携推進機構）		1～4年次学生 30名	令和元年10月3日（木）～ 12月24日（火）	科目担当教員（高畑） 録確認表への押印と許可 手続する。
総96	総合特別講義VI「クラウド ファンディング実践講座」 （地域創生副専攻科 目）	2	畑中寛（地域連 携推進機構）		1～4年次学生 30名	令和元年10月3日（木） ～10月15日（火）	履修登録確認表を持参 （10/5）に必ず出席し、 と許可コードをもらい、登
総98	総合特別講義VIII「ファシ リテーションの技法と地域振 興」(地域創生副専攻科 目)	2	畑中寛（地域連 携推進機構）		1～4年次学生 30名	令和元年10月3日（木） ～10月31日（木）	教務情報システム「お知 育支援課窓口で申込名 入。履修登録確認表へ なるので、教育支援課に 支援課にて実施）。
C31	キャリア関係科目「地域企 業（自治体）のお題解決 プログラム01組」(地域創 生副専攻科目)	2	松本剛（理学 部） 畑中寛（地域連 携推進機構）		1～4年次学生 30名	令和元年10月3日（木） ～10月15日（火）	履修登録確認表を持参 （10/8）に必ず出席し、 と許可コードをもらい、登

【履修登録窓口・問合せ先】

琉球大学学生部教育支援課 共通教育係
TEL:098-895-8854、8853

地域連携推進機構 特命准教授 畑中寛
TEL : 098-895-9073 E-mail : hiroshi[at]cs.u-ryukyu.ac.jp

地域公共政策士とは

政策課題に対してプロジェクトリーダーとしてチームマネジメント力を備えて、課題解決を遂行していく力を「資格」として獲得した人物。地域公共政策士は、異なる職業分野の垣根（セ
域の公共的活動や政策形成をコーディネートし課題解決を導くことができ、こうした人と人にある公共を発信し、リードしていく人材として活躍していくことが期待されている。
この資格には、「初級地域公共政策士」（level.6学士レベル）と「地域公共政策士」（level.7修士レベル）の2種類があり、プログラムの難易度や学習時間が異なる。
2012年3月の地域公共政策士第1号が誕生以降、初級地域公共政策士283名、地域公共政策士27名を輩出している（2019年3月現在）。

【「地域公共政策士」資格教育実施機関】

京都大学、琉球大学、京都府立大学、福知山公立大学、同志社大学、京都産業大学、京都文教大学、京都橘大学、龍谷大学、佛教大学、京都府立林業大学校、グローバル

【地域公共政策士資格のねらいと養成する能力】

出典：COLPU「地域公共政策士資格制度に関する説明会」資料より

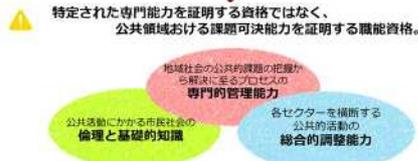
地域公共政策士資格のねらい

- ① 地域社会の課題解決にあたる人材「地域公共人材」の能力を証明する。
② 地域課題の解決に向けた地域公共人材の育成を通じてセクターを越えた産官学民との連携を促進する。
③ 米国キヤッツストーン教育プログラムと、欧州の教育と職能をつなぐ国際的フレームワークであるEQF（European Qualifications Framework）のそれぞれの長所を真価に組み込み、教育と職能を繋ぎたい。

地域公共政策士で養成する能力

「地域公共人材の教育プログラム」が育成の対象とする人材は、実際に働くとしては自治体、NPO、そして企業といった
ように多様であることを前提としており、その意味での職業性はゆるやかに捉えられている。」

※資料出典：「初級地域公共政策士」資格制度に関する説明会資料（初級地域公共政策士） | 琉球大学 地域連携推進機構



【初級地域公共政策士・資格制度の概要】

出典：COLPU「地域公共政策士資格制度に関する説明会」資料より

Level.6 120 hours 初級地域公共政策士
地域課題に対してプロジェクトスタッフやサブリーダーとしての能力養成を目指す。
学習アウトカムレベル6 (知識、技能、職務遂行能力)
現場での学習を含め合計120時間の学習量を資格教育プログラムに求める。
初級地域公共政策士は、政策課題に対してプロジェクトスタッフやサブリーダーとして課題解決に向けて主体的に実践していく力を資格取得から獲得した方を指します。

沖縄産学官協働人材育成円卓会議との連携について

沖縄産学官協働人材育成円卓会議との連携によるプログラム開発

【背景】
2013年12月14日、県内の高等教育機関、行政、企業、経済団体の関係者等約50人が出席し、従来の産学官連携の枠を超えた対話を通し人材育成に関する具体的なアクションを起こす機会とする目的で「沖縄産学官協働人材育成円卓会議」が設立。
【活動概要】
(1) 沖縄社会における人材育成上の課題の抽出について
(2) 沖縄社会として求める人材像のあり方の共有について
(3) 産業界と高等教育機関、行政機関における課題解決に向けた具体的なアクションプランの策定について
(4) アクションプランの進捗状況等についての共有を通じた普及啓発活動の推進について
(5) その他、本会議の目的を達成するために必要と認める事項について

| [アクセス](#) | [お問い合わせ](#) | [プライバシーポリシー](#) |

琉球大学 地域連携推進機構

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

Copyright© 琉球大学 地域連携推進機構 All Rights Reserved.

「初級地域公共政策士」取得のための科目認証制度・履修ガイダンス

12
ポイント

初級地域公共政策士とは？

初級地域公共政策士とは、資格教育の中に設定されているテーマや政策分野に合わせて、実務的なプロジェクトスタッフやプロジェクトのサブリーダーとして実践的能力を獲得された方を指します！

認証科目制度とは？

科目認証制度では、

- ① 「政策的思考」、
 - ② 「政策研究の基礎知識」、
 - ③ 「政策得意分野づくり」、
 - ④ 「政策基礎としての社会人基礎力」
- の4つのカテゴリーごとに認証科目があり、それぞれのカテゴリーの認証科目を選択していき所定のポイントを獲得することで、初級地域公共政策士の資格取得を目指すことができます。

科目の取り方

「政策的思考」から2ポイント
「政策研究の基礎知識」から4ポイント
「政策得意分野づくり」から4ポイント
「政策基礎としての社会人基礎力」から2ポイント
の合計12ポイントを取得して下さい

2

ポイント

政策的思考



政策研究の基礎知識

4

ポイント

政策得意

分野づくり



4

ポイント

政策基礎としての

社会人基礎力



2

ポイント

120 hours

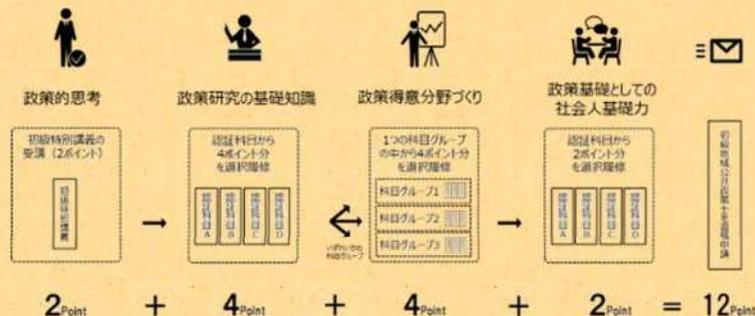
一般財団法人 地域公共開発 人材機構



Consortium for Local Public Resources Development

COLPU

科目認証のポイント取得方法



① 認証科目からポイントを取得する方法？

- 「政策的思考」から2ポイント
 - 「政策研究の基礎知識」から4ポイント
 - 「政策得意分野づくり」の一つの科目グループから4ポイント
 - 「政策基礎としての社会人基礎力」から2ポイント
- の合計12ポイントを取得して下さい。ポイントを取得する順番はどの順番でも構いません。

② 「政策的思考」の科目受講・・・・・・・・・・4ポイント

政策的思考の科目である「初級特別講義」は地域公共人材開発機構のホームページからお申込み下さい。講座内容は、講座（eラーニング）受講とスクーリング参加としてレポート作成という内容になり、修了すると2ポイントを取得できます。

③ 「政策研究の基礎知識」の科目受講・・・・・・・・・・4ポイント

認証科目一覧の「政策研究の基礎知識」の科目から科目を選択して4ポイントを取得して下さい。

④ 「政策得意分野づくり」の科目受講・・・・・・・・・・4ポイント

認証科目一覧の「政策の得意分野づくり」の1つの科目グループから科目を選択して4ポイントを取得して下さい。ここで選んだ科目グループ名が資格証明書に記載されます。

⑤ 「政策基礎としての社会人基礎力」の科目受講・・・・・・・・・・2ポイント

認証科目一覧の「政策基礎としての社会人基礎力」の科目から科目を選択して2ポイントを取得して下さい。科目には現場での実践的な活動が含まれます。
※設定ポイント数以上を獲得しても資格申請時に2ポイントの認定となります。

初級地域公共政策士の申請

※認証科目12ポイント分の成績証明書（科目の履修が証明できる書類）等が揃ったら初級地域公共政策士の資格申請を行うことができます。

※資格申請時には、申請科目の学習アウトカムの自己評価をCOLPUより受ける必要があります。

※資格申請で使用した科目は、他の初級資格の申請には使うことができなくなります。

※資格発行手数料：3,240円

科目認証制度：認証科目一覧

科目カテゴリー	科目名	P	実施機関	
「政策的思考」	初級特別講義	2	COLPU	
	「政策研究の基礎知識」	財政学	2	龍谷大学
		持続可能な発展概論	2	龍谷大学
		公共経済学	2	京都文教大学
		政策過程論	2	同志社大学
		政府体系論	2	同志社大学
		社会調査論	2	京都橘大学
		公共政策	2	京都文教大学
		財政学	2	京都橘大学
		地域内車会議マネジメント講座	2	琉球大学
政策立案能力強化プログラム		2	琉球大学	
「政策の得意分野づくり」	【科目グループ】環境政策	環境経済学	2	龍谷大学
		環境政策総論	2	龍谷大学
	【科目グループ】公共部門政策	都市計画論	2	龍谷大学
		政策評価論	2	同志社大学
		政策法務	2	同志社大学
	【科目グループ】文化政策	多文化共生論	2	京都文教大学
		文化・観光政策論	2	龍谷大学
		文化経済・政策論	2	京都橘大学
	【科目グループ】ソーシャルファイナンス	社会的インパクト投資基礎概論	2	琉球大学
		クラウドファンディング実践講座	2	琉球大学
「政策基礎としての社会人基礎力」	伏見CBL演習Ⅰ	4	龍谷大学	
	PBL入門	4	龍谷大学	
	島嶼地域交流ファシリテーター養成講座	2	琉球大学	
	地域企業（自治体）のお題解決プログラム	2	琉球大学	

※2019年3月時点での認証科目

資格制度に関するお問合せ先

〒600-8492

京都市下京区四条通新町東入ル月鉾町52番地
イヌイ四条ビル flag四条

一般財団法人 地域公共人材開発機構

問い合わせ：info@colpu.org

2019年3月発行

令和元年 9 月 1 9 日
琉 球 大 学

南の島の“ぬちぐすい（命の水）”を守れ！

琉球大学の学際的研究チームが社会課題解決型コミュニケーションツールを開発

琉球大学の学際的な研究チームが中心となる独立行政法人科学技術振興機構（JST）科学技術コミュニケーション推進事業「未来共創イノベーション活動支援」 「水の環でつなげる南の島の暮らし」プロジェクト（代表 理学部 新城 竜一教授）は、水資源の持続可能な利用に配慮した社会の実現に向けて、多様なステークホルダーや多世代と対話・協働しながら、共に解決策を探るための社会課題解決型コミュニケーションツール（ボードゲーム“すいまーる”）を開発しました。

2019年11月17日（日）に東京お台場で開催される、日本最大級のサイエンスコミュニケーションイベント「サイエンスアゴラ 2019」で、このボードゲームをもとに「南の島の“ぬちぐすい（命の水）”を守れ！～ボードゲームから考える水と私たちの暮らし～」と題した研究成果報告会を行います。（サイエンスアゴラ琉球大学プログラムページ <https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/program/booth/8d04/>）

記

サイエンスアゴラ 2019 ワークショップ 「南の島の“ぬちぐすい（命の水）”を守れ！～ボードゲームから考える水と私たちの暮らし～」

日 時：2019年11月17日（日）10:30～12:30（会場受付 10:20～）

場 所：テレコムセンタービル 8階 セッション（会議室 D）

東京都江東区青海二丁目 5 番 10 号

内容等：別紙参照ください

<発表概要>

本プロジェクトは、平成 26 年度より、「島と水」をテーマに、琉球大学の自然科学系や人文・社会科学系など多様な分野の研究者による学際的なチームを形成し、琉球列島で直面する飲料水源の水質悪化、観光・農業用水の不足、地下水の塩水化、地下水汚染によるサンゴ礁生態系の劣化などの社会・地域課題解決に資することを目的に、琉球弧の水循環の特性を明らかにする基礎研究、自然特性に応じた応用研究、科学と社会をつなげるための科学コミュニケーションに取り組んできました。

平成 28 年度には独立行政法人科学技術振興機構（JST）科学技術コミュニケーション推進事業「未来共創イノベーション活動支援」「水の環でつなげる南の島の暮らし」プロジェクト（代表 理学部 新城 竜一教授）に採択され、子どもたちや市民を対象とした科学教室や参加型アクション・リサーチ、水行政関係者を対象とした高度専門職の育成を目指すワークショップ等を企画・運営し、多様なステークホルダーや多世代と対話・協働しながら、共に解決策を探ることに挑戦してきました。平成 30 年度には、「水」をキーワードに、自然科学系だけではなく、人文・社会科学系分野の研究者や URA も加わり、学際的な研究プロジェクトを地域社会とともに展開していることが評価され、内閣官房水循環シンポジウム特別賞を受賞し、さらに JST の SDGs 事例集に掲載されるなど県内外で注目されています。

今年 11 月に東京で開催されるサイエンスアゴラでは、本プロジェクトが独自に開発した社会課題解決型コミュニケーションツール（ボードゲーム“すいまー”）をとおして、ある南の島の水環境と人々の暮らしを体験し、どうすれば島の水を絶やさずに、自分とみんなの暮らしを守ることができるか、多様なアクターがいる中で、島じまの自然特性に応じながら、どのように限られた資源へのアクセスや享受を調整するのかを、自分ごととして考える機会を提供します。ボードゲームの重要な要素として、本学の研究者による南の島の水循環に関するサイエンストーク（研究紹介）を行います。本研究成果報告会では、このような科学的「知識」をどのようにより良い暮らしを作り出すための「知恵」に自分ごととして変換するかを、体験者とともに考えたいと思います。

なお、本出展は、市民団体「湧き水 fun 倶楽部」、琉球大学の包括連携協定機関である「一般財団法人美ら島財団」、環境省総合研究推進費「高 CO2 時代に対応したサンゴ礁保全に資するローカルな環境負荷の閾値設定に向けた技術開発と適応策の提案」（代表 井口亮 国立研究開発法人産業技術総合研究所）との共催により実施します。



PRESS RELEASE

<参考>

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)「科学技術コミュニケーション推進事業未来共創イノベーション活動支援」**「水の環でつなげる南の島の暮らし」** (代表 理学部 新城 竜一)

<http://mizunowa.sci.u-ryukyu.ac.jp>

サイエンスアゴラ

「科学と暮らし 共に語り紡ぐ社会」をビジョンに、異なる分野・セクター・年代・国籍を超えた関係者をつなぎ、様々な人たちが各地で主体的に推進する活動を紹介し、対話・協働を行うことで、政策形成や課題解決、知識創造へと結びつける「共創」を推進することを目的として、JSTが2006年から開催している日本最大級のサイエンスコミュニケーションイベント（2018年参加者4021名）。

- 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)プレスリリース (2019年9月18日)

<https://www.jst.go.jp/pr/info/info1392/index.html>

- サイエンスアゴラ2019公式ウェブページ

<https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/>



写真1 八重瀬町の子どもたちとの湧き水調べ



写真2 多良間小学校の総合的学習の時間でボードゲームをもとに、島の限られた水資源の持続可能な利用と島の未来を議論する。



琉球大学水循環プロジェクト について

10月期学長記者懇談会補助資料

An aerial photograph of a tropical coastline. The water is exceptionally clear, showing various shades of turquoise and deep blue, indicating a shallow reef flat. A dark, forested island is visible in the distance under a bright blue sky with a few white clouds. A sandy beach is visible in the lower right corner.

みっつやあらいーやつかーいん
(水は洗って使えない)



琉球大学 水循環プロジェクト -サイエンスと社会との対話と協働- 3

熱帯・亜熱帯島嶼から目指す持続可能な地球-社会システムの実現



島嶼での水に関する様々な課題

- ・地下水の塩水化
- ・飲料水源の水質悪化
- ・地下水・湧水の枯渇
- ・農業/観光用水の不足
- ・汚水流出による生態系への悪影響
- ・地下水利用による農作物の生育障害
- ・水資源や水環境への意識の希薄化
- ・高度専門人材の不足

海洋基本法(2007)や水循環基本法(2014)に基づく統合的管理計画が多くの地方自治体で未整備

課題解決へむけた多様なアプローチ

【基礎研究】島嶼特有の水循環特性と陸と海のつながりの解明

- 石灰岩地域特有の地下水流動特性の解明と可視化
- 水循環を可視化するマルチ同位体地球化学の展開
- 島嶼水環境とサンゴ礁生態系のリンケージ解明

【応用研究】人間活動による環境負荷の低減に向けた技術開発

- 濁水・汚水処理のための植物由来凝集剤の開発
- 水質浄化処理のための安価な浸透膜・樹脂の開発
- 生分解性の土壌固化剤の開発
- 家畜ふん処理のための有用微生物の検索

【科学コミュニケーション】地域の暮らし、人と水のつながりの向上

- 市民参加型アクション・リサーチの展開
- 水循環に携わる高度専門技術者の育成・再教育
- 持続可能な開発のための教育(ESD教育)

【政策提言】島嶼型統合的水循環管理計画の提言

- 科学知と民俗知が融合・継承する水循環マネジメントの構築
- 社会経済影響評価手法の開発
- 水資源の健全な循環を生存基盤とする社会システムの構築

国際展開へ

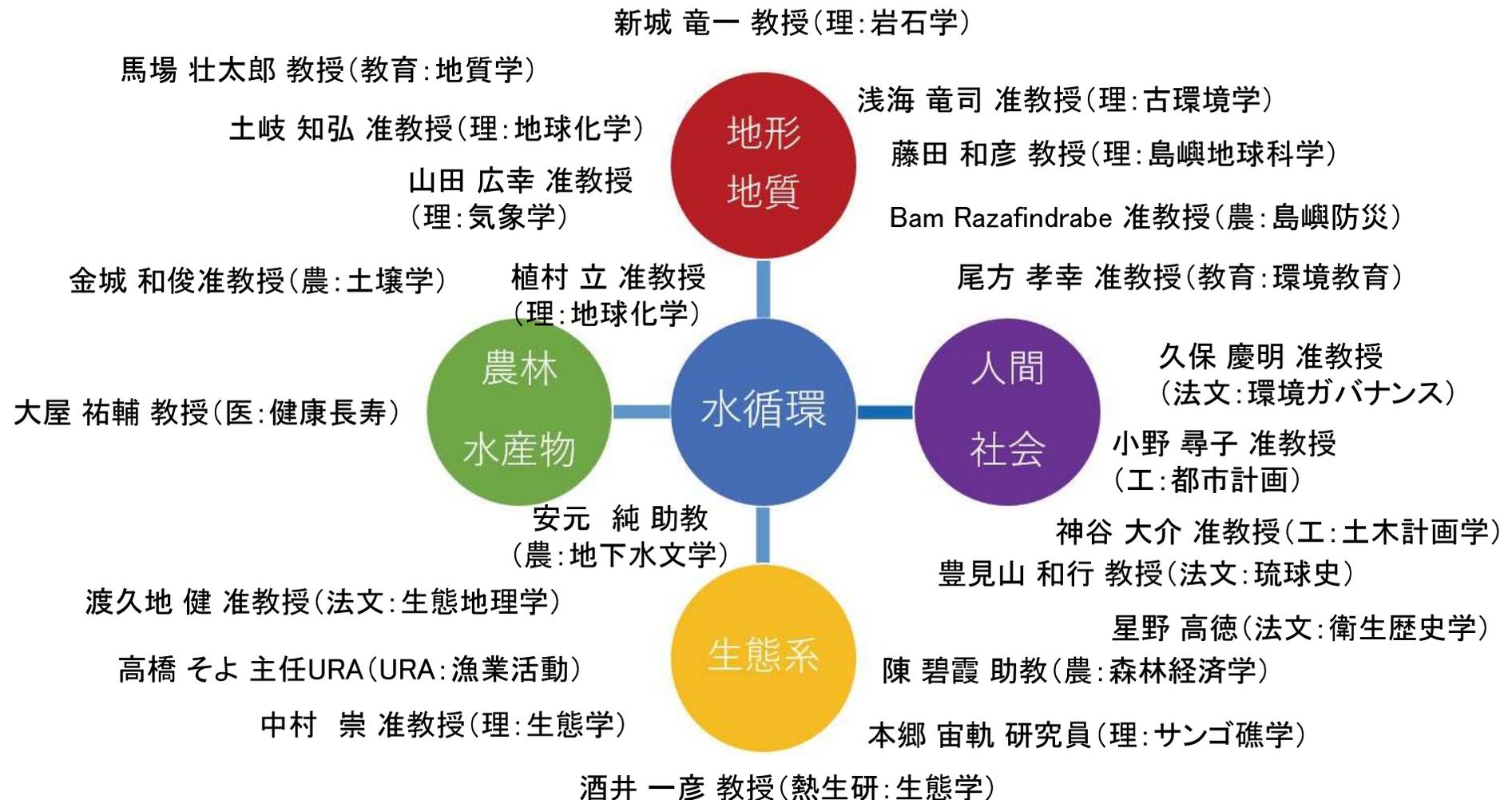
SDGsへの科学的貢献

情報-データ-人材が集積-融合する **国際島嶼サステナビリティ研究所(仮) 創設**

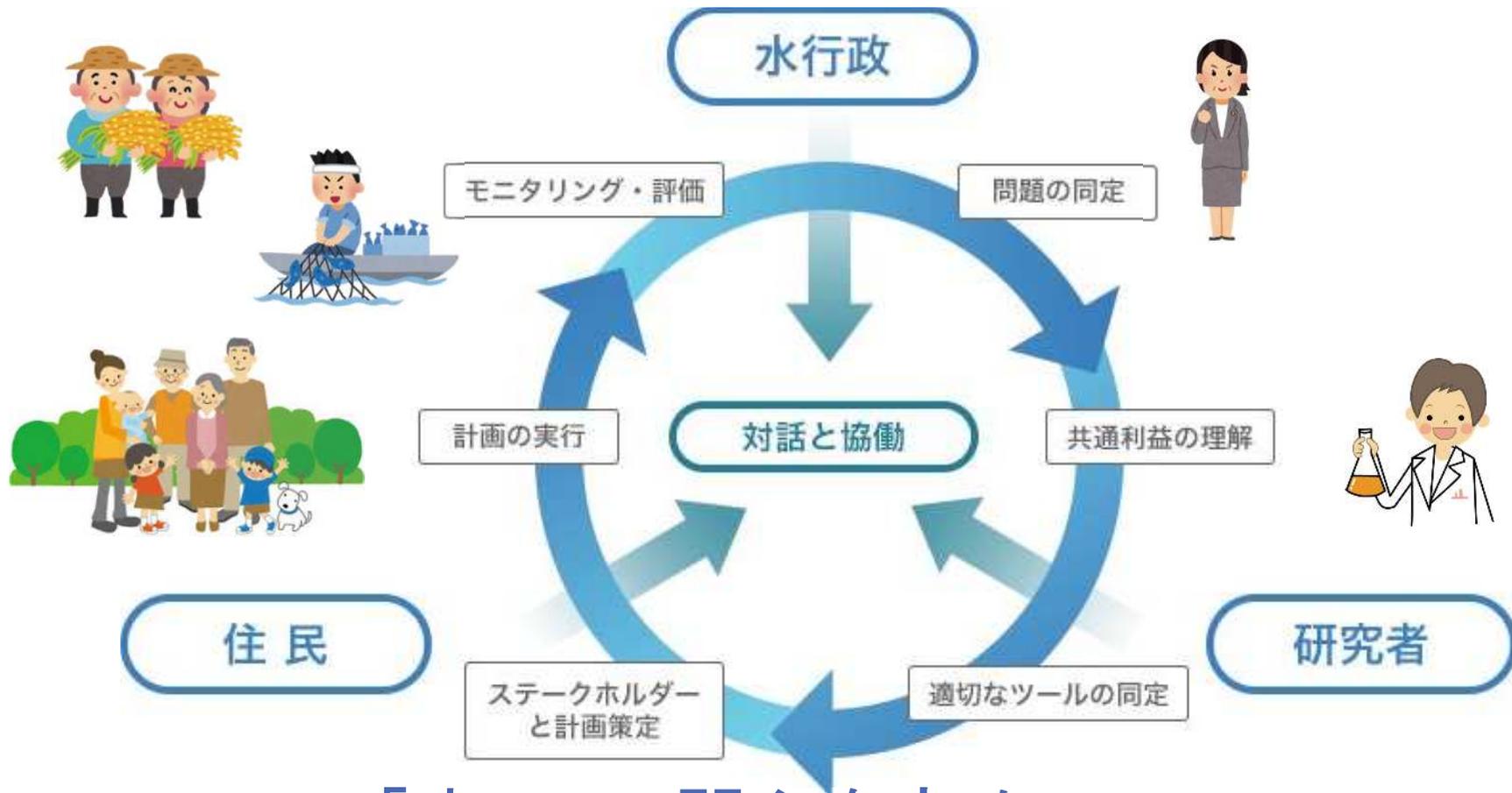
共通課題をもつ **アジア-太平洋島嶼地域との研究ネットワーク構築**

Future Earth

多彩な専門領域からなる 分野横断型研究チーム (琉球大)



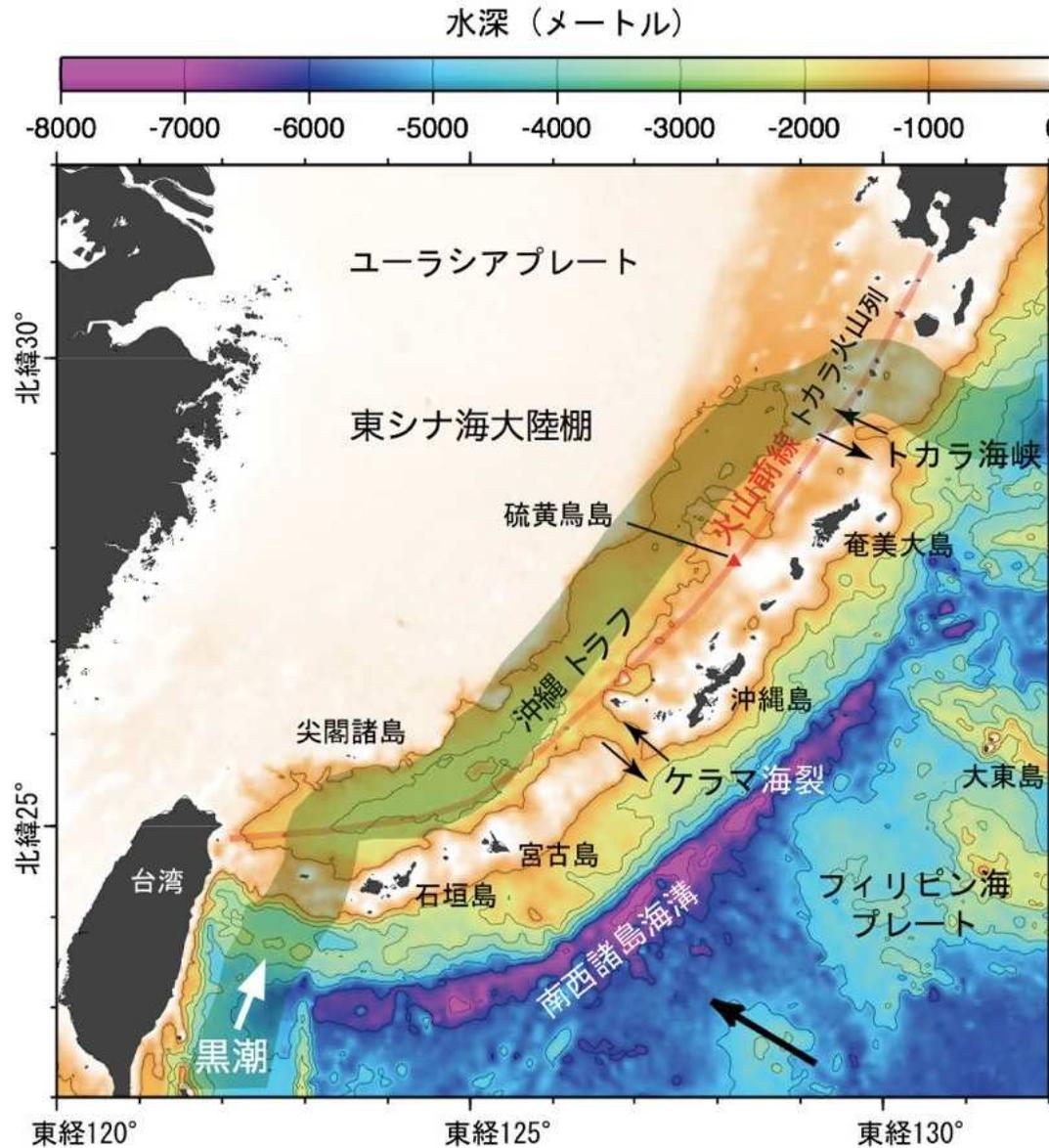
持続可能な自然共生社会の形成＝健全な水循環が不可欠



「水」への関心を高め、
協働の場を創り、維持する

図 統合的水循環管理におけるプロセス
(American Rivers' approach to the philosophy of integrated water management (IWM), often referred to as 'One Water' or Integrated Water Resources Management (IWRM)を引用)

琉球弧の特徴



日本の温暖化の最前線
アジア・大平洋島嶼の
モデル

地質資源

石灰岩 (建材)
海底熱水鉱床

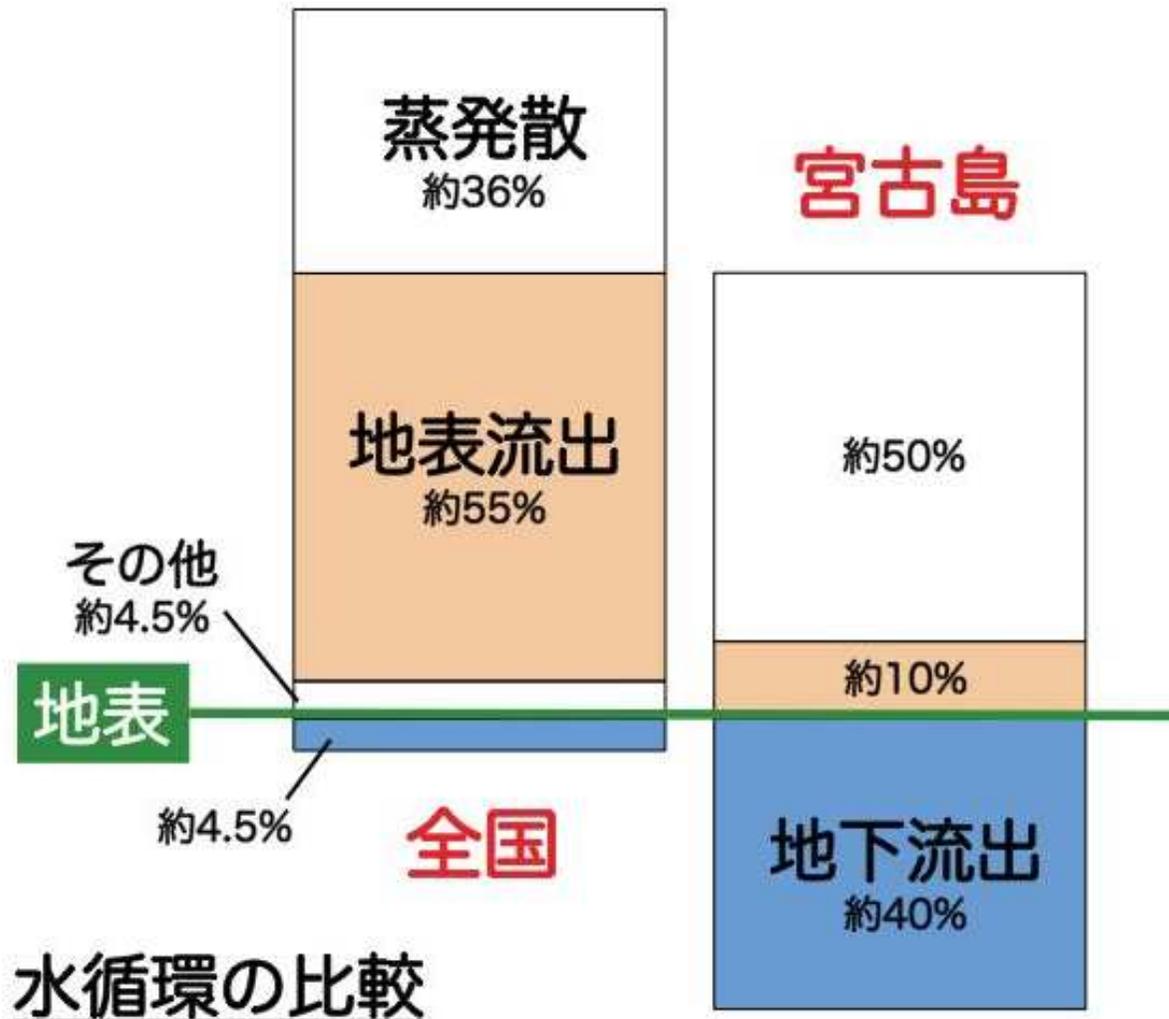
農業資源

赤土 (風成塵)
地下水 (地下ダム)

生態系

サンゴ礁
マングローブ
亜熱帯雨林

島では, 雨水の約**40%**が地下へ



島の暮らしをささえる湧水

銘酒・泡盛にも使われた水・仲之川



↑明治末期の仲之川（東京大学総合研究資料館所蔵・鳥居龍蔵博士撮影・写真資料カタログ6139より）

－那覇市首里金城町－

子ども達の遊び場・垣花樋川



－南城市玉城－

紙すきに適した水・金城大樋川

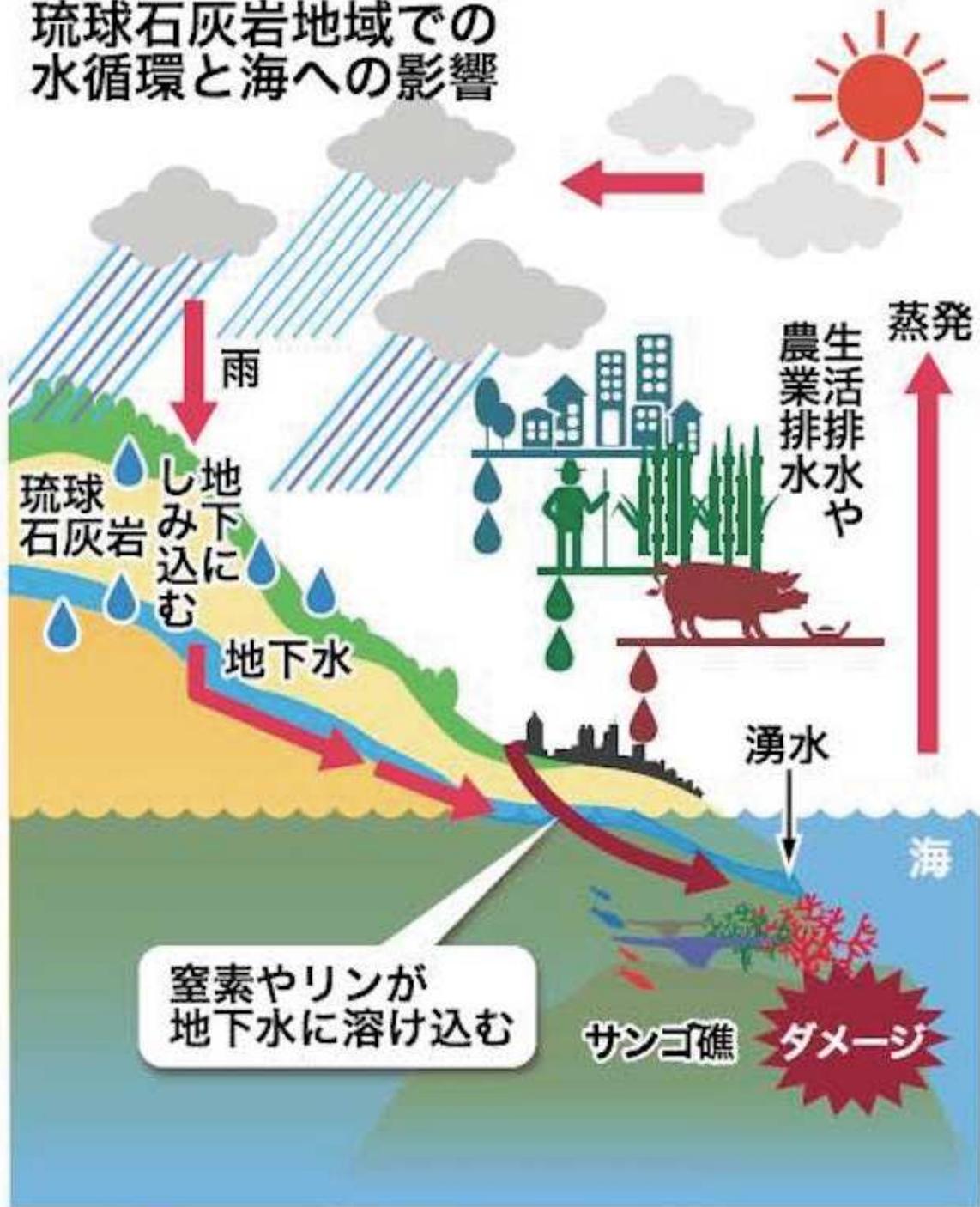


那覇市首里金城町・金城大樋川↑

－那覇市首里金城町－

《写真集》水の今むかしより

琉球石灰岩地域での水循環と海への影響



沿岸のサトウキビ畑



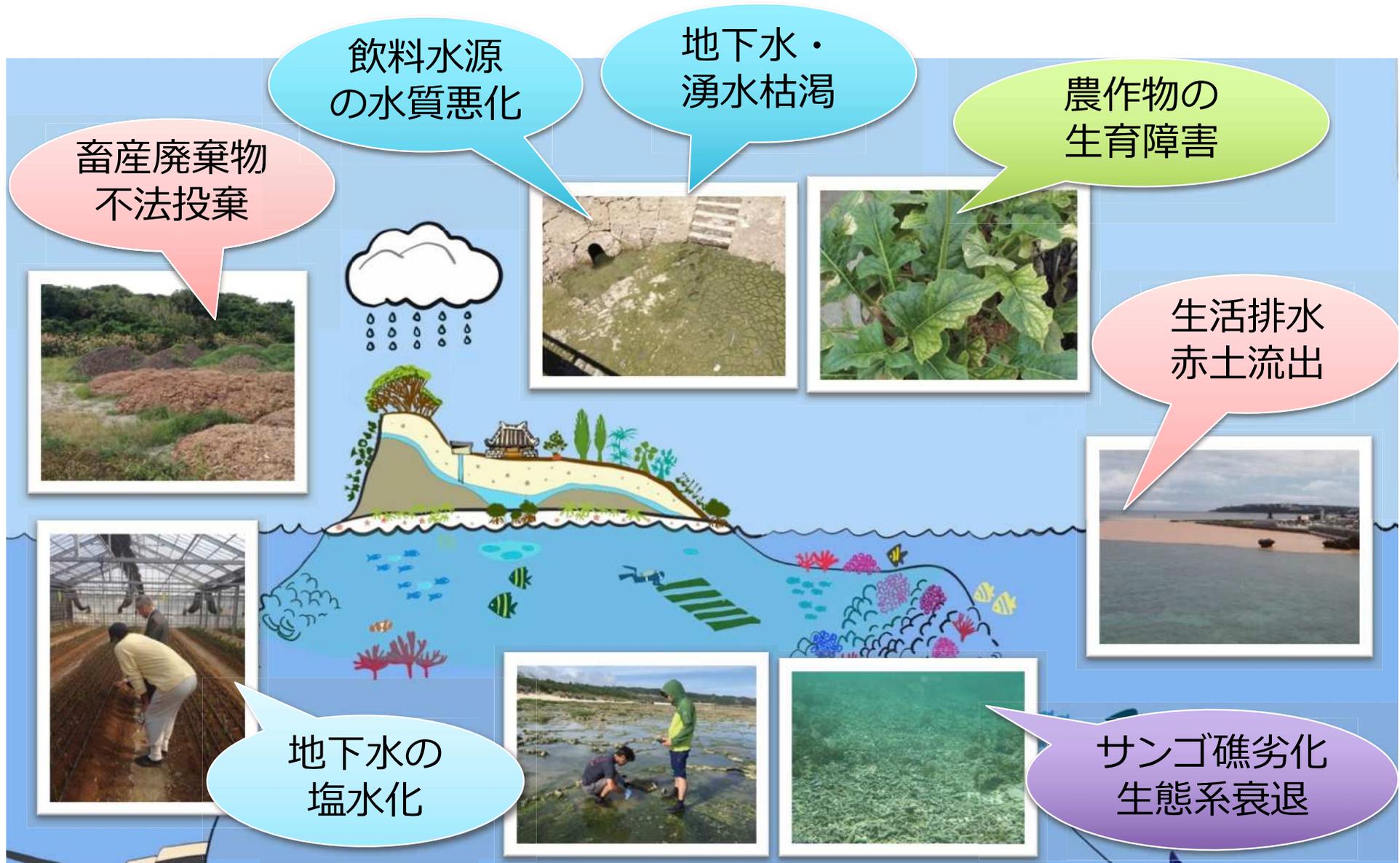
海に注ぎ込む湧水



富栄養化したサンゴ礁池



沖縄特有の水に関する地域課題



「水循環」をキーワードとした 超学際的研究の展開



琉球大学

1: 所属 2: 専門分野



プロジェクトリーダー

新城 竜一

- 1: [理学部 物質地球科学科地球学系](#)
2: 岩石鉱物学、地球化学



副リーダー

高橋 そよ

- 1: [人文社会学部琉球アジア文化学科](#)
2: 環境民俗学、生態人類学



藤田 和彦

- 1: [理学部 物質地球科学科地球学系](#)
2: サンゴ礁地球科学、海洋微古生物学



土岐 知弘

- 1: [理学部 海洋自然科学科化学系](#)
2: 地球化学



安元 純

- 1: [農学部 地域農業工学科](#)
2: 農業土木学、地下水文学、島嶼水環境学



Bam H.N. Razafindrabe

- 1: [農学部 亜熱帯農林環境科学科 森林環境科学](#)
2: 流域管理、災害リスクマネジメント



金城 和俊

- 1: [農学部 亜熱帯農林環境科学科 生態環境科学](#)
2: 土壌学



久保 慶明

- 1: [人文社会学部国際法政学科](#)
2: 公共政策学、政治過程論



星野 高德

- 1: [国際地域創造学部](#)
2: 日本経済史、公衆衛生史



佐々木 健志

- 1: [博物館 \(風樹館\)](#)
2: 昆虫生態学、保全生態学



一般財団法人
沖縄美ら島財団



湧水fun倶楽部

課題解決のための4つのミッション

① 沖縄特有の水循環特性と陸と海のつながりの解明

- ◆ 雨水・河川水・地下水・海水・地質に関する化学組成データの蓄積
- ◆ 3次元地質構造データベースの構築
- ◆ 地下水を含めた水循環モデルの開発
- ◆ 水循環とサンゴ礁等の生態系との関係性の解明

② 人間活動に伴う環境負荷低減に向けた技術開発

- ◆ 農業や畜産業、観光業、生活排水等の人間活動に由来する影響評価
- ◆ 雨水浸透技術、環境保全型農業保術、汚水処理水の適正放流技術等の開発
- ◆ 陸域から海域への1日あたりの日最大可能流出負荷量の算定

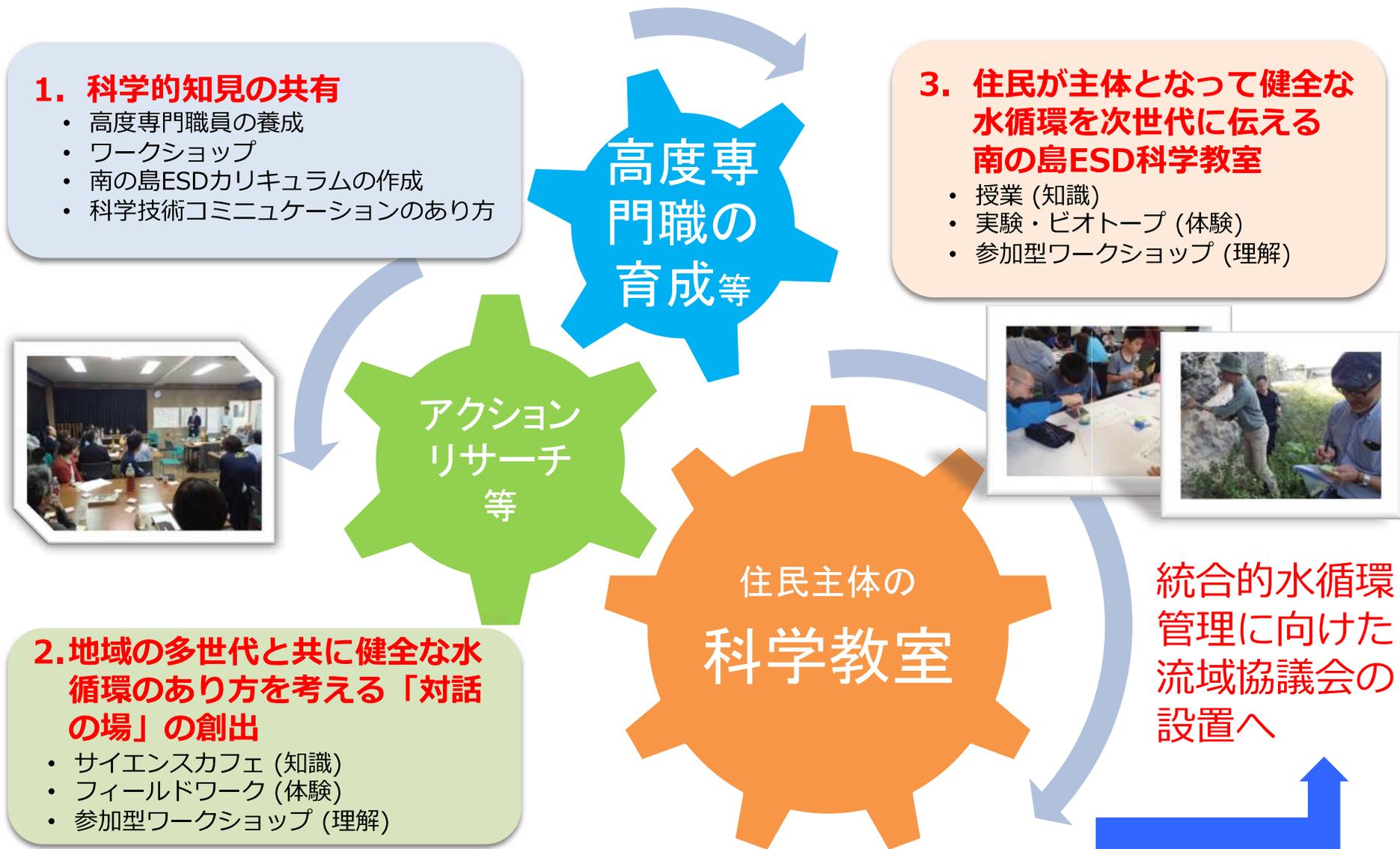
③ 地域の暮らしと水のつながりの向上

- ◆ 地域住民の意識向上を目的とした市民参加型アクション・リサーチ
- ◆ 水循環（水資源）等に携わる高度専門技術者の育成・社会人教育
- ◆ 持続可能な開発のための教育（ESD教育）

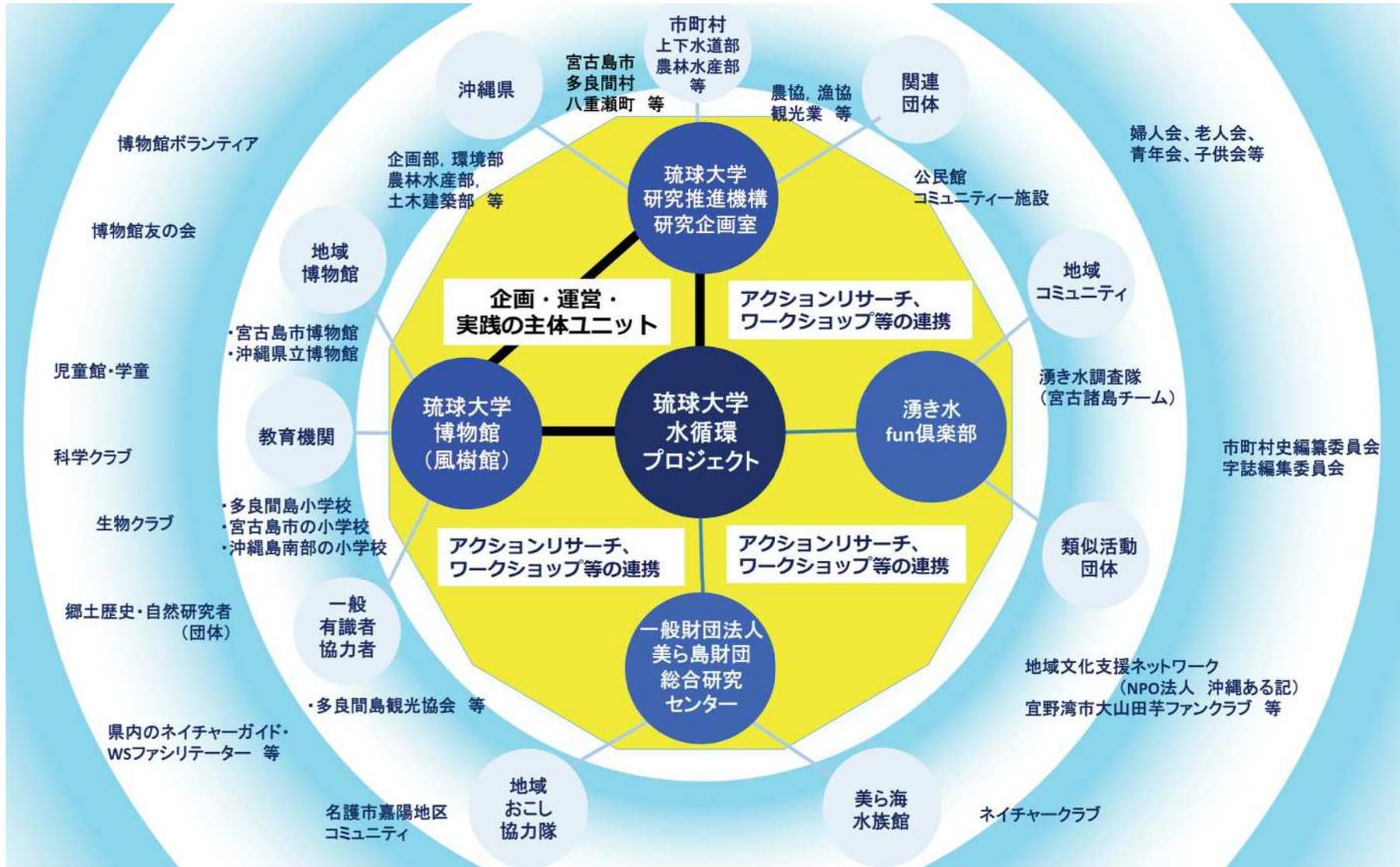
④ 島嶼型統合的水循環管理計画への提言

- ◆ 多様なステークホルダーと対話・協働する場の創出
- ◆ 水循環基本法(2015)によって義務付けられている「水循環保全協議会」の設置

具体的な取り組み

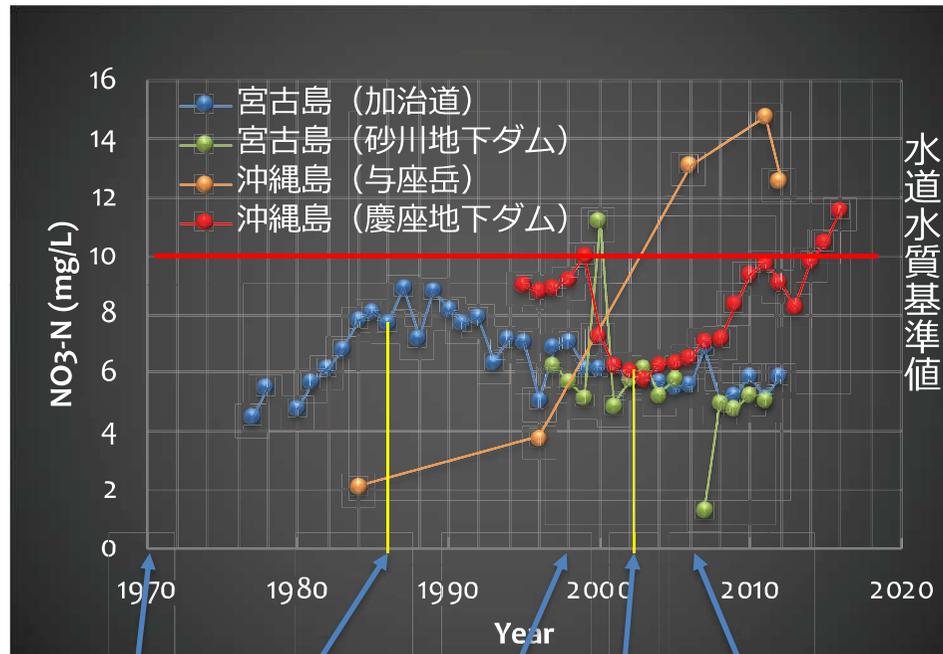


実施体制



具体的な実践の場所: 八重瀬町

地下水の硝酸性窒素の経年変化



減肥の取り組み
スタート (1986年頃)

慶座地下ダム
2002年に完成

宮古島地下水保護
管理条例 (1965年)

宮古島水道水源
保護条例 (1998年)

八重瀬町地下水保護
管理条例 (2006年)

宮古島での成功事例

対策を講じた約8年後に
硝酸性窒素が**減少**スタート

沖縄島での現状

- 湧水は現在も**上昇傾向**
- 地下ダム完成後、**急激に上昇**



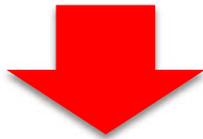
窒素負荷削減の取り組み

- 地下水保護管理条例 (2006)
- 畜産屎尿処理プラント
- 水質モニタリング開始

アウトプット・アウトカム ①



世代や立場を超えた様々な形の地域対話
や協働の場を創出（アウトプット）



本プロジェクトからの提言が、
第2次八重瀬町総合計画「基本構想・前期基本計画」に反映（アウトカム）

町の取り組み

自然環境と景観の保全

将来に渡って良好な自然環境と景観を保全し、活用していくための取り組みを推進します。

- 自然資源と景観に関する現状把握
- 自然環境保全計画の策定
- ゴミの不法投棄等の問題状況への対応
- 自然環境と景観の保全および活用に関する包括的な取り組みの展開

豊かな水資源の保全と水循環の健全化

地下水等の豊かな水資源を保全し水循環を健全化するため、現状把握や保全に向けた取り組みを検討します。

- 河川や**地下水**などの水量や水質に関する現状の把握
- 水資源の保全と、水循環健全化のための手法の検討
- 水循環の健全化に向けた流域協議会の設置・運用の検討
- 水資源保持の重要性に関する啓発推進
- 地下水**等水資源の有効活用に向けた方策検討
- 水資源の次世代継承に向けた取り組み推進

悪臭公害の解消

生活と産業の環境を損ねている悪臭を解消するため、早急な取り組みを行います。

- 臭気とその発生源、被害に関する現状把握
- 悪臭の解消策の検討
- 悪臭の発生源となっている事業者等への指導と改善支援

環境教育の推進

多くの町民に環境に関心を持っていただくための啓発に取り組みます。

- 環境保全に関する啓発
- 環境教育プログラムの検討と実施

環境保全型産業の育成

環境に配慮した産業育成に向けた取り組みを推進します。

- 環境保全型産業に関する情報収集
- 環境保全型産業に関する知識の普及と、実践に対する支援

八重瀬町役場ウェブサイト

<https://www.town.yaese.lg.jp/docs/2019012100026/>

第2次八重瀬町総合計画(案) p. 58

基本方針5 発展の基盤を備えたまち (*地下水に関連する箇所を抜粋)

① 自然環境の保全

現状と課題

・町内には複数の河川や豊かな地下水が存在し、風光明媚な海岸があります。しかし、生活排水や畜産排水等により、河川や海、湧水の水環境や地下水等の水資源の汚染が発生しています。これらは、農業・水産業などの一次産業や生活環境、観光振興に深刻な影響をおよぼすため、早急な対策が必要です。

町民の声

畜産排水による川や海の汚染を、改善しなければならない。

町の取り組み

豊かな水資源の保全と水循環の健全化

地下水等の豊かな水資源を保全し水循環を健全化するため、現状把握や保全に向けた取り組みを検討します。

- 河川や地下水などの水量や水質に関する現状の把握
- 水資源の保全と、水循環健全化のための手法の検討
- 水循環の健全化に向けた流域協議会の設置・運用の検討
- 水資源保持の重要性に関する啓発推進
- 地下水等水資源の有効活用に向けた方策検討
- 水資源の次世代継承に向けた取り組み推進

アウトプット・アウトカム②



内閣官房水循環シンポジウム2018「特別賞」受賞

アウトプット・アウトカム③



学生の教育研究・社会活動への波及



水の日
おはなし会
in 多良間

ゆうたくんはおはあちゃんをたすね、
むかしのアルバムを思い出した。
その水は雨の島にたどり着くにははるかな。
ゆうたくんが「おはなし会」を主催する。
どんなおはなしがあったらいいかな。

2019年1月29日（火）午後4時から4時半
多良間小学校 ランチルーム

主催 AKUAH Chikasuiプロジェクト
琉大コミュニティーキャンパス（RCC）事業
H30年度地域共創型学生プロジェクト（ちゅらプロ）

共催 国立研究開発法人科学技術振興機構
「科学技術コミュニケーション推進事業未来共創イノベーション活動支援」
「水の環でつなげる南の島の暮らし」（代表 琉球大学 理学部 新城 竜一）

AKUAH Chikasuiプロジェクト
琉大コミュニティーキャンパス（RCC）事業
H30年度地域共創型学生プロジェクト（ちゅらプロ）

① 流域マネジメント・モデル地域 認定に向けた取り組み 行政との意見交換

- ・ 八重瀬町、宮古島市、多良間村の水行政担当者（企画調整課や土木建設課、農林水産課等）
- ・ 沖縄県庁（地域・離島振興課、企画調整課、農林水産課、科学技術振興課等）
- ・ 沖縄総合事務局
- ・ 南部水道企業団



八重瀬町長との面談（2017年10月）



八重瀬町企画調整課や土木建設課、農林水産課、南部水道企業団等との意見交流会（2017年9月）

【平成30年度】 行政や地域団体の意見交換と水行政関係者等との勉強会（計 12回）



水循環ワークショップ（4/27、八重瀬町役場）



- ・ 八重瀬町や多良間村の水行政担当者
- ・ 南部水道企業団
- ・ 八重瀬町アサト・ヨザ・ナカザ地域資源保全の会

高度専門職の育成 (水行政・研究機関対象)

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)
平成29年度科学技術コミュニケーション推進事業未来共創イノベーション活動支援
「水の環でつなげる南の島のくらし」(代表 琉球大学 理学部 新城竜一)

水循環ワークショップ2017 in 八重瀬町

【水循環に関連する法令と

自治体の動向に関する勉強会】

「最近の水循環施策の動向」

内閣官房水循環政策本部事務局
企画官 岩崎 福久 氏



2017年

10月26日(木)

14:30-17:00 (14:00開場)

主催:水の環プロジェクトチーム
場所:八重瀬町役場2階大会議室
対象:沖縄県や自治体等の水行政
担当者
参加費:無料
定員:40名(先着順)

プログラム

14:30-14:45 開会の挨拶/水の環プロジェクト
紹介(理学部 新城竜一)
14:45-15:25 話題提供
「最近の水循環施策の動向」
15:25-15:40 休憩
15:40-16:50 総合討論
16:50-17:00 総括 (JST科学コミュニケーショ
ンセンター 柴田 孝博事務局長)
17:00 閉会の挨拶

申込みフォーム

<https://jp.surveymonkey.com/r/WaterYaese>



本ワークショップは、JST平成29年度科学技術コミュニケーション推進事業未来共創イノベーション活動支援「水の環でつなげる南の島のくらし」(代表 琉球大学 理学部 新城竜一)の一環として実施します。

第1回水循環WS

内閣官房, 内閣府総合事務局, 沖縄県, 八重瀬町役場, 水道企業団等の水行政担当者。約45名参加



参加者とのフィールドワーク



米須地下ダム



南部企業団浄水場



南部海岸での湧水観察

農家との意見交換



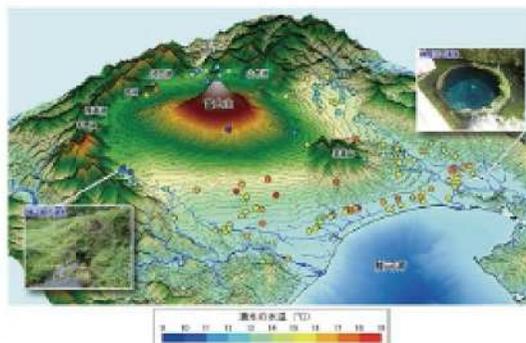
第2回 水循環ワークショップ 2017

科学情報を可視化する

～富士山麓の“水文環境図”ができるまで、そしてその活用～

平成 29年 12月4日 月

15:00-17:00



会場

琉球大学附属図書館2階
ラーニングcommonsスペース



対象

水行政、水環境・水環境の保全や管理にたずさわる
専門職、関心のある研究者や学生等(定員30名程度)

申し込み方法

ウェブ登録(当日参加も可)
専用フォームよりお申し込みください

専用フォーム
<https://goo.gl/forms/rTQgkVYN8Dp6z5WQ2>



本ワークショップは、国立研究開発法人科学技術振興機構 科学技術コミュニケーション推進事業 未来共創イノベーション活動支援「水の環でつなげる海の島の暮らし」(代表 琉球大学 理学部 新堀 竜一)の一環として実施します。プロジェクトウェブサイト: <http://mizunowa.sci.u-ryukyuu.ac.jp/>

(お問い合わせ先) 水の環プロジェクト事務局 担当URA 高橋
TEL : 098-895-8486 (直通) E-mail : mizunowa(#)#w3.u-ryukyuu.ac.jp (#)は@に変換してください

話題提供

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地圏資源環境研究部門 地下水研究グループ

井川 伸政氏 (主任研究員)
「水文環境図作成の背景と今後の出版計画について」



産業技術総合研究所地圏資源総合センター地圏資源環境研究部門地下水研究グループ所属、専任は主任研究員。熊本大学大学院の博士後期課程を修了後、2008年に産総研に入所。専門は水文地質学。主に沿岸域の深部地下水流動や広域地下水流動系をテーマとした研究を行っている。日本以外でもタイ、ベトナム、アメリカ等で地下水資源評価テーマにした研究も行っている。水文環境図No.7「熊本地域」の筆頭著者。

小野 昌彦氏 (研究員)
「水文環境図No.9 富士山ができるまで」



産業技術総合研究所地圏資源総合センター地圏資源環境研究部門地下水研究グループ所属、専任は研究員。熊本大学大学院の博士後期課程を修了後、熊本大学産総研のPDを経て、2015年4月より任期付研究員となり現在に至る。専門は 水文学で、近年は富士山から駿河湾沿岸域における地下水流動系の解明や駿河湾における海底湧出地下水をテーマに研究を行っている。水文環境図No.9「富士山」の筆頭著者。

第2回水循環WS

研究者や学生、地元企業：25名参加



② 多世代とのアクションリサーチ

継続的なモニタリング体制を構築するために…



- 全国河川一斉調査 (6月3日)
- 八重瀬町ガイドの会研修 (5月19日)
- 湧き水fun倶楽部との湧き水巡り (6月30日)
- サイエンスサマーキャンプ (8月13日)

計 18回

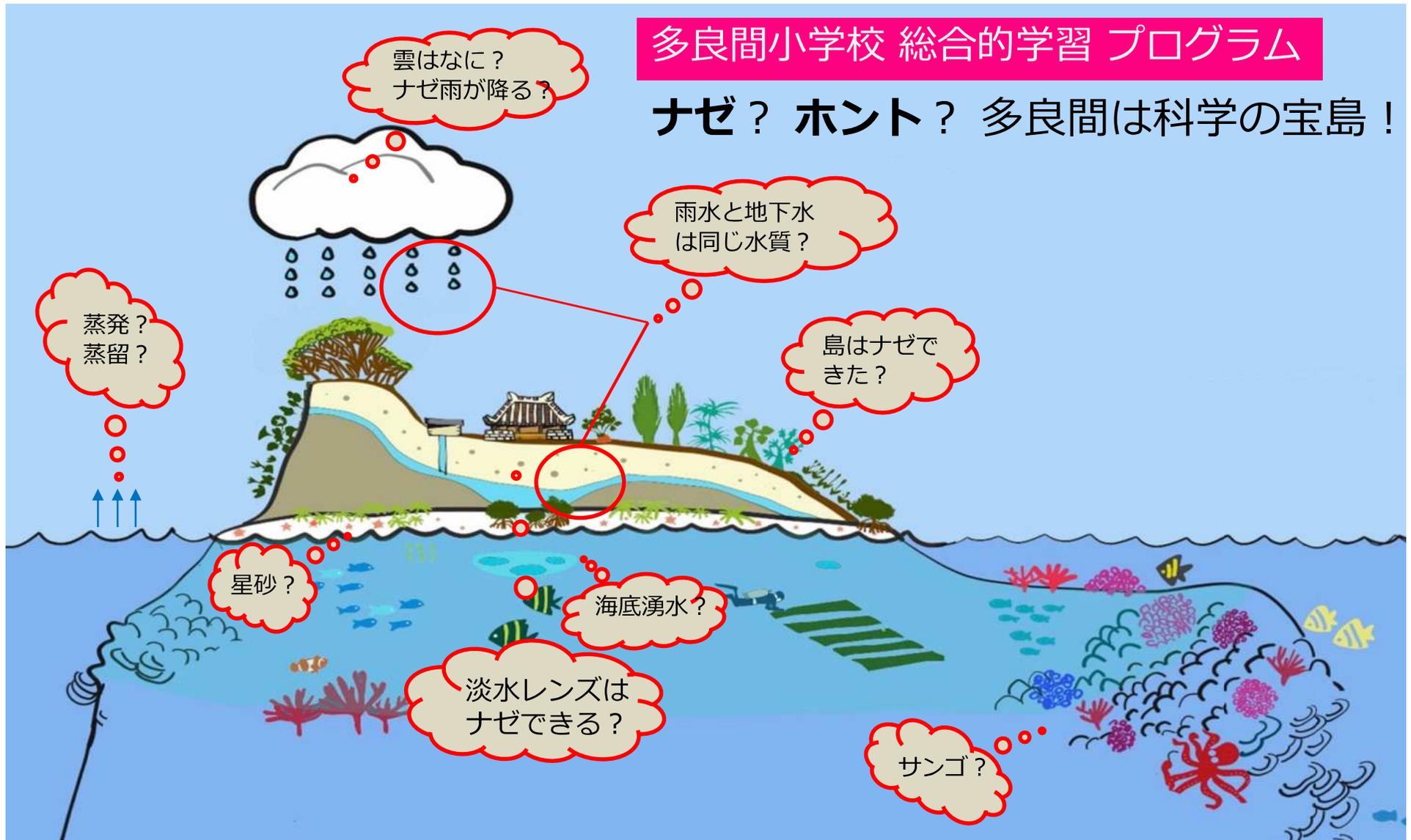


② 多世代とのアクションリサーチ



サイエンスサマーキャンプ
サンプリングから分析まで

③ ESD教育プログラム・教材開発



南の島のESDカリキュラムの作成

1. 南の島を科学する

- 「島の成り立ち」
- 「島の水循環の特徴」
- 「サンゴ礁の生き物」

2. 南の島の暮らし

- 「暮らしの中の水」
- 「農業と畜産業」
- 「漁業と観光」
- 「土地利用の変化」

3. 南の島の環境問題

- 「水資源の減少」
- 「水環境の悪化」
- 「サンゴ礁の劣化」

4. 南の島を考える

- 「南の島を伝える」
- 「南の島科学技術コミュニケーション」
- 「島の統合的水循環管理のために」

陸と海の繋がりを理解しよう！

高度専門技術者

南の島
市民参加型
アクションリサーチ

南の島の

科学教室

琉球列島の
自然講座

サンゴ礁・島の生き物たち・自然環境

琉球大学 理学部
「琉球列島の自然講座」編集委員会編
ボーダーインク

多良間島の子供向けESDカリキュラムの作成

第1回 琉球弧の成り立ちを学ぼう

(理学部 新城竜一 9月6日)

第2回 淡水レンズって何？／淡水レンズを測ろう

(農学部 安元純 10月18日～19日)

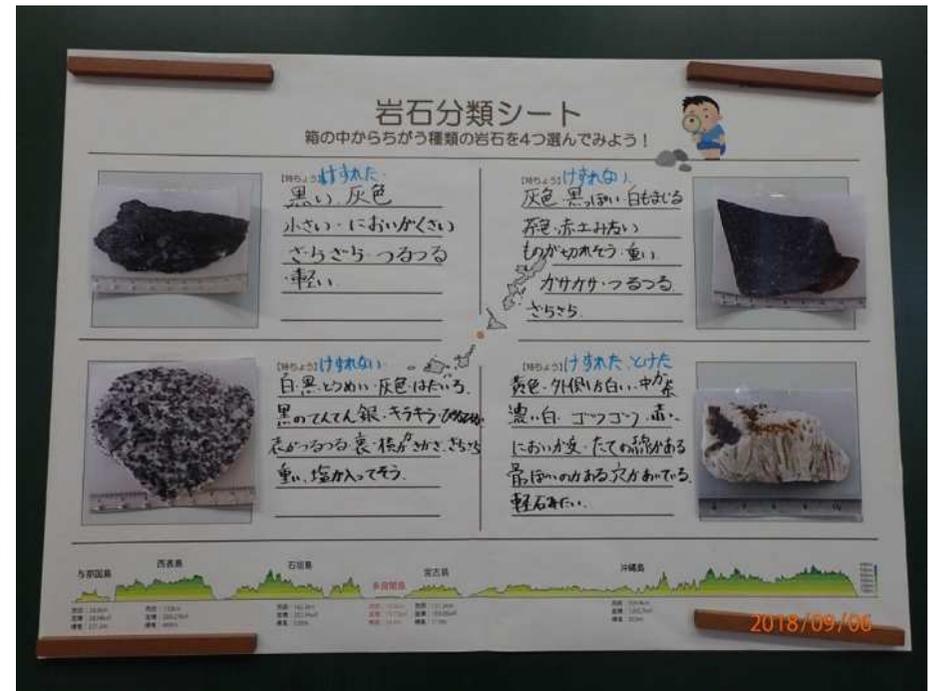
第3回 有孔虫ってなに？

(理学部 藤田和彦、美ら島財団 鈴木瑞穂 1月16日)

第4回 ボードゲーム「すいまーる～湧水に負けるな！たたらんちゅ」で考える南の島の「ゆいまーるって、なんだろう？」 「ルールって、なんだろう？」

(人文社会学部 久保慶明、理学部 土岐知弘、
沖縄ある記 島袋美由紀 1月29日～30日)

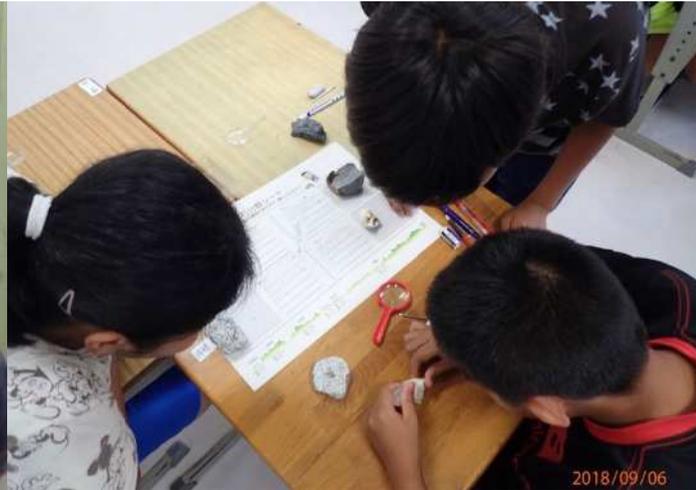
教材づくり 模型・ワークシート



第1回 琉球弧の成り立ちを学ぼう (理学部 新城竜一 9月6日)

第2回 淡水レンズって何? / 淡水レンズを測ろう

(農学部 安元純 10月18日~19日)



第3回 有孔虫ってなに？（理学部 藤田和彦、美ら島財団 鈴木瑞穂 1月16日）

第4回 ボードゲーム「すいまーる～濁水に負けるな！たたらんちゅ」で考える南の島の「ゆいまーるって、なんだろう？」「ルールって、なんだろう？」（人文社会学部 久保慶明、理学部 土岐知弘、沖縄ある記 島袋美由紀 1月29日～30日）



コミュニケーターはこどもたち (学習発表会 2018年11月17日)



④ アウトリーチ

- サイエンスアゴラへの出展準備

コミュニケーションツール（ボードゲーム「すい
まーる～渇水に負けるな！たたらんちゅ」）開発

ESOFでの情報収集（担当URA）

- 地域対話の場づくり・地域イベントへの出展

地域の人々との湧き水巡り 2/16

- ウェブサイト・SNSの活用

- 招待講演

（リスクコミュニケーション学会、水循環シンポジウ
ム等）



社会課題解決型コミュニケーションツール³⁹ ボードゲーム「すいまーる」の開発



「すいまーる」

- ゆいまーる

- 「結い」 = 「絆」
- 「廻る」 = 「順番に」

- サトウキビの収穫を助け合って行った（労働交換）
- 助け合いの心

- 水（すい）

- 南の島の水に関する諸問題への意識を高める科学コミュニケーションツールにしましょう。

シンポジウム開催

琉球大学・沖縄県共催 シンポジウム

「水から考えるSDGs×沖縄・島じまの挑戦 2018」

琉球大学・沖縄県 共催シンポジウム

SDGs × 沖縄・島じまの挑戦 2018

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界の未来を左右する17の目標

水から考える

参加費 無料
正座あり、手紙進取、予約制受付



いま、わたしたちの住む沖縄は様々な社会課題に直面しています。これらの課題の解決に向けた取り組みは、国連が2019年に定めた持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals (SDGs) の実現と、切り離して考えることはできません。地域社会は、まさにグローバルな課題の現場だといえるでしょう。様々なファクターが絡み合った課題を解決するためには、多様なステークホルダーとの対話や連携、調整が重要です。そこで、本シンポジウムでは、自然と人間の暮らしに欠かすことのできない「水」をキーワードに、自治体や企業、市民、大学による取組みを共有し、パートナーシップのあり方について議論します。そして、持続可能な島の暮らしと未来を実現するために、それぞれの立場から、わたしたちは何ができるのかを、参加者のみなさんと一緒に考えたいと思います。

2018
2月4日
13:30~16:30 (開場 13:00)

場 所 沖縄県立博物館・美術館 講堂
定 員 200名(申込先着順)

申込方法 ウェブ申込フォーム(沖縄県 電子申請サービス)または FAX にてお申し込みください。

ホームページ <http://www.prof.okinawa.jp/site/kikaku/chosel/staff/sdgs-symposium2018.html>

FAX 098-866-2351 (担当 沖縄県 企画部 企画調整課)

※1 記載いただいた団体や個人の情報は、本シンポジウムの運営のみに使用します。
※2 登録料に会場の手続き料を別途徴収します。シンポジウム報告としてウェブ等に写真を掲載する場合は別途ご依頼ください。
※3 空席がある場合は当日参加も可能です。

特別企画「水から考える SDGs」

最近、よく耳にする「SDGs(エス・ディー・ジーズ)」。私たちの暮らしと、どんな関係があるのでしょうか? 「水」をキーワードにわかりやすく解説した体験型パネル展を開催します。ぜひ、お立ち寄りください。

2018年
1月29日(月) 主催 水の環プロジェクトチーム・沖縄県
2月2日(金) 協力 日本科学未来館
場所 県民ホール(沖縄県庁1Fロビー内)

企画協力 水の環プロジェクトチーム
国立研究開発法人科学技術振興機構 平成29年度科学技術コミュニケーション推進事業「未来共創イノベーション活動支援」『水の環でつなげる島の島の暮らし』
(代表 琉球大学 理学部 新藤 竜一) <http://mizunowa.sci.u-ryukyuu.ac.jp>

共催 琉球大学・沖縄県

企画協力 水の環プロジェクトチーム (JST 平成29年度科学技術コミュニケーション推進事業「未来共創イノベーション活動『水の環でつなげる南の島の暮らし』 代表 理学部 新城 竜一)

日時 2018年2月4日(日) 13:30-16:30

場所 沖縄県立博物館・美術館 講堂

県内外から、行政、教育機関、高校生等、**150**人が参加



基調講演
沖 大幹 国際連合大学 上級副学長



国連大学、JST、沖縄県、企業、市民、
大学によるステークホルダーミーティング

サイドイベント 特別企画展「水から考えるSDGs」



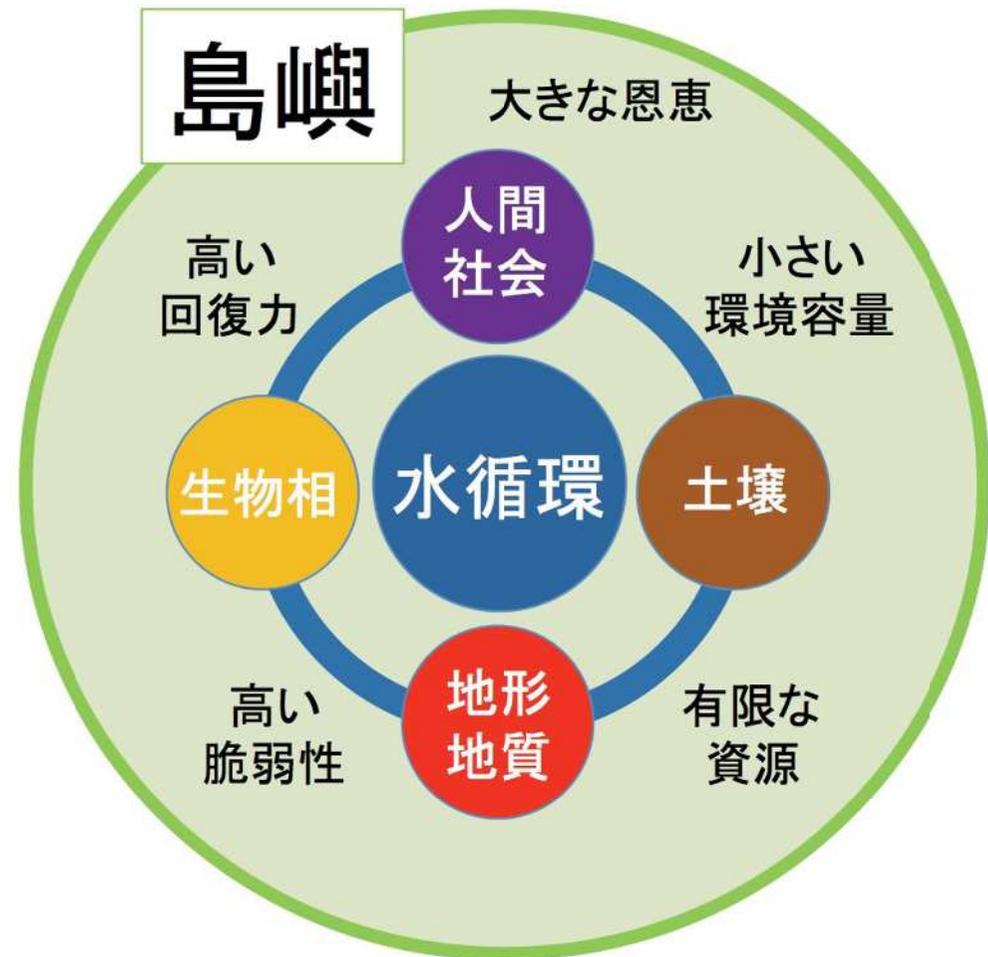
共催 水の環プロジェクトチーム・沖縄県
協力 日本科学未来館
期間 2018年1月29日（月）～2月2日（金）
場所 沖縄県庁ロビー1階 県民ホール

琉球弧からモデルを提示

健全な水循環でつな
げる南の島の暮らし
持続可能な自然共生
社会へ

島の特性に合わせた
統合的水循環管理

持続可能な開発目標
(SDGs) への貢献





水はめぐる



①サンゴでできた島は穴だらけ

沖縄の島々の多くは、数十万年前のサンゴ礁が隆起して陸に上がった琉球石灰岩でできている。琉球石灰岩はスポンジのように隙間だらけで水を透しやすく、また、雨水で溶けたり固まったりを繰り返して鍾乳洞ができるなど、穴だらけの岩石である。

②滞留時間の短い島の地下水

雨水が地下にしみ込んで海に流れ出るまでの時間は、世界的な平均で数百年ほどとされるが、水を透しやすい沖縄の島々では10年以下の場合がある。このような特性がある地下水は人の暮らしの影響を受けやすいが、対策を講じた場合にはその回復が速いことが期待できる。

③海底の湧き水

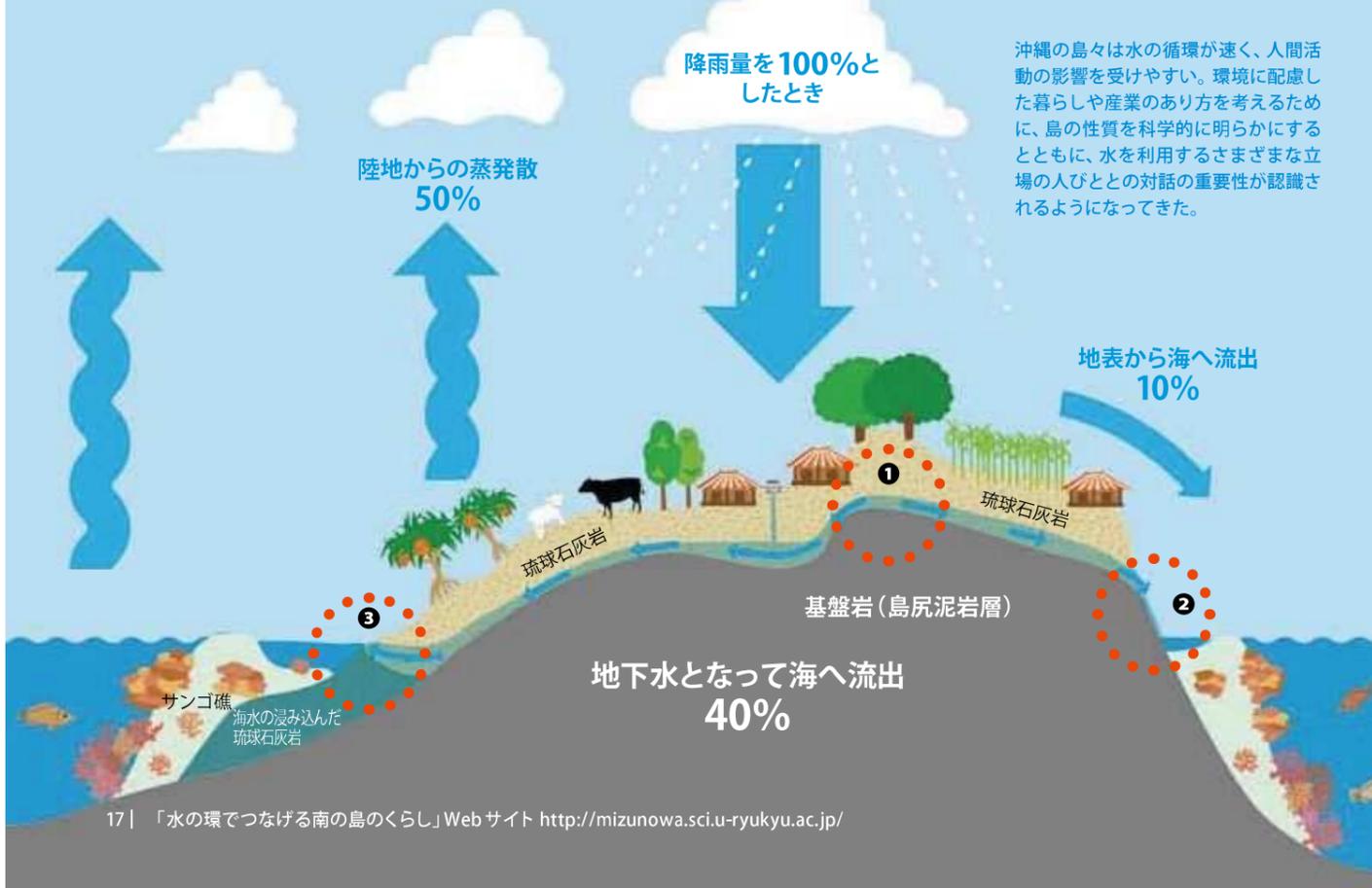
沖縄の島々では、海底から地下水が直接海に湧き出している場所が多くある。人の暮らしによって水質が悪化した地下水が「海底湧水」となって海に流れ出し、サンゴにダメージを与えている可能性が指摘されている。

淡水レンズとは

水を透さない基盤岩が海面より低い場合、地上からは淡水が、海からは塩水が地中にしみ込む。しかし淡水は密度の違いから塩水とは混ざらず、「淡水レンズ」と呼ばれる凸レンズ状に溜まる。淡水レンズの大きさは雨と潮汐により変動する。淡水レンズから地下水をくみ上げすぎると地下水の塩水化を招く。



雨水の約40%が地下に浸透する南の島特有の水循環



沖縄の島々は水の循環が速く、人間活動の影響を受けやすい。環境に配慮した暮らしや産業のあり方を考えるために、島の性質を科学的に明らかにするとともに、水を利用するさまざまな立場の人びととの対話の重要性が認識されるようになってきた。

島の水環境と暮らしを考える 新たな挑戦

琉球大学「水の環でつなげる南の島の暮らし」プロジェクト

島特有の水循環と課題

琉球大学では、沖縄の島々が直面する特有の水問題を解決しようと水の流れ(水循環)を科学的に把握し、環境を守りながら水利用を図る「水循環プロジェクト」が進行中だ。その一環としてこれらの課題を社会と共に考えたいと、新城竜一教授(理学部)を中心とした学際的な研究チームにより2017年度から新たなプロジェクトが立ち上がった。

執筆協力/新城竜一、渡久地健、藤田和彦、土岐知弘
安元純、高橋そよ(琉球大学)

沖縄の島々の多くは、サンゴや星砂(有孔虫)といった海の生きものが積み重なってできた琉球石灰岩からなります。この琉球石灰岩は「穴」だらけで水を透しやすい性質があり、降った雨の約40%が地下に浸透します。こうした島の水循環・水環境は、人間の暮らしの影響を受けやすく、その結果、飲料水源の水質悪化、観光・農業用水の不足、地下水の塩水化、地下水汚染によるサンゴ礁等の生態系の劣化など、多くの課題に直面しています。その大部分は、アジア・太平洋の島々に共通したものです。

例えば、地下水に溶け込んだ化学物質は海に向かって移動し、沿岸域や海底から海に流れ出ます。生活排水や農業・畜産由来の窒素やリンなどの栄養塩を多く含んだ地下水が海へ流出すると、貧栄養な海域に適應するサンゴにとって、生息しにくい環

境になってしまっています。近年、世界的に深刻化するサンゴの白化現象も、海水温の上昇に加えて、海水中の栄養塩濃度の上昇も要因の一つだとする研究報告もあるのです。島の未来を考える上で、陸と海のつながりを考慮した暮らしや産業のあり方を見直すことが重要です。

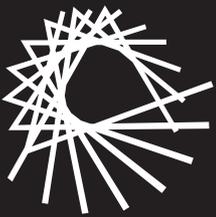
科学と社会をつなぐ 私たちのプロジェクトでは、沖縄をはじめとする島々の水循環の特性を自然科学的に明らかにするとともに、科学と社会をつなげ、「水」をめぐる環境意識の向上を目指しています。地域のさまざまな団体と協力し、子どもたちや市民を対象とした科学教室、参加型の調査研究、高度専門職の育成を目指すワークショップを実施しています。イノー(礁池)に静かに水紋が広がるように、立場や世代の違いを超えた対話・協働の輪を広げ、健全な水循環を支える仕組みづくりに挑戦しています。



島の地下水の流動や水質の特性を明らかにするため、学生や地域の方と一緒に定期的なモニタリング調査を実施。



多良間島の小学校での科学教室(2017年)。自分が生まれた島の地質的な特徴や、生活のあり方が地下水に影響を与えることを学んだ。

SCIENCE AGORA
2019科学と社会の
関係を深める3日間

サイエンスアゴラ2019

2019 11.15(金)→17(日) 10:00~16:30

会場 テレコムセンタービル / 日本科学未来館 / 他

入場無料

※一部、実費をいただく場合があります

Human in the New Age

—どんな未来を生きていく?—

あなたは、科学技術の開発がさらに進んでいるであろう未来に、
どんな暮らしをしていきたいですか?
望む未来に必要な技術とは? 機械や新技術に委ねたくない人間性とは?
そもそも人間とは何なのか、自分は何を選び、どう生きるのかを、
さまざまな視点から考えてみませんか

3DCG女子高生「Saya」
©TELYUKA

3日間の
注目セッション15
金

日本科学未来館 7階

[13:00~13:20] 開幕セレモニー
[13:30~14:20] 基調講演

「マダム、これが俺たちのメトロだ」 阿部 玲子

[A new generation of responsible science professionals for the New Age] マイケル・マトロス

[14:30~16:00] キーノートセッション

Human in the New Age —どんな未来を生きていく?—

16
土

テレコムセンタービル

[12:30~13:30]

Science for Peace~大型加速器が創る世界平和~

●リニアコライダー・コラボレーション

[13:45~15:15]

超人スポーツシンポジウム @サイエンスアゴラ2019

●科学技術振興機構

●超人スポーツ協会

●日本バーチャルリアリティ学会超人スポーツ研究委員会

[15:00~16:30]

SDGs教育を受けた私たちの現在と未来

●立命館SDGs教育チーム(大学・附属校)



村山 亨



為末 大

16日/17日の注目ブース

シンボルプロムナード公園ウエストプロムナード

未来の乗り物
RODEMを体験しよう!

●テムザック

テレコムセンタービル

ヒトの未来、未来のヒト

●東京大学

納得!

making your decision!

●同志社大学Share Your Value PJ

ANAアバターで瞬間移動を体験

●科学技術振興機構、ANA

大人から子供まで、誰もが参加できる、
学べるプログラムが

140企画以上

科学者のキャリア / いきもの / SDGs

元素・原子・分子 / 科学実験 / 食べもの / 進路

人の気持ち / 宇宙や地球 / 健康

ロボット・AI・プログラミング・IoT / 数学・パズル

17
日

テレコムセンタービル

[10:30~12:00]

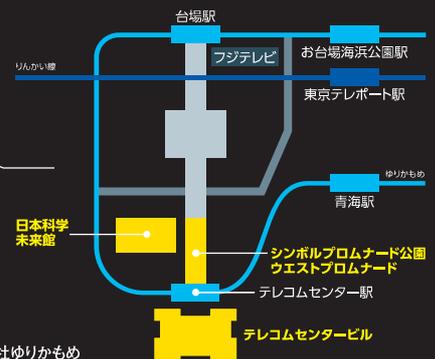
AIと人間の違いってなんだろう? —個人背景・主観・カテゴリ付けより—

●九州大学 言語文化研究院 他

[会場アクセス]
ゆりかもめ
「テレコムセンター」駅直結

[主催] 国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)

[共催] 一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会

[協賛] 株式会社リコー / 旭化成株式会社 / 株式会社学研ホールディングス
日本アイ・ピー・エム株式会社 / 日本電信電話株式会社 (NTT) / エルゼビア・ジャパン株式会社[協力] 株式会社フジテレビジョン / 株式会社東京テレポートセンター / 国立大学法人京都工芸繊維大学KYOTO Design Lab
ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社 / ソースネクスト株式会社 / アカデミスト株式会社 / 株式会社福音館書店 / Wiley[後援] 内閣府 / 外務省 / 文部科学省 / 経済産業省 / 日本学術会議 / 一般社団法人日本経済団体連合会 / 一般社団法人国立大学協会
日本私立大学団体連合会 / 国立研究開発法人理化学研究所 / 国立研究開発法人産業技術総合研究所 / 東京都港湾局 (予定) / 株式会社ゆりかもめ

JSTについて

事業紹介

事業成果

データベース

調達情報

刊行物・レポート

[JST トップ](#) > [プレス一覧](#) > 科学技術振興機構報 第1392号

科学技術振興機構報 第1392号

令和元年9月18日

東京都千代田区四番町5番地3

科学技術振興機構(JST)

人の未来をテーマに、ありたい社会を考える 「サイエンスアゴラ2019」を開催

ツイート

JST(理事長 濱口 道成)は「サイエンスアゴラ2019」を令和元年11月15日(金)から17日(日)の3日間、日本科学未来館とテレコムセンタービル、シンボルプロムナード公園(ウエストプロムナード)で開催します。

<テーマ:Human in the New Age —どんな未来を生きていく?—>

今年のテーマは、Human(人)の未来です。科学技術がより進んだ未来に、私たちはどんな暮らしをしたいでしょうか。ありたい未来を創るのに求められる科学技術とは。機械やAIなどの新技術に委ねたくない人間の本质、幸福とは。今年のサイエンスアゴラは、未来に向かって自分が何を選び、どう生きていくのかを、さまざまな視点から考える機会を提供します。社会課題の解決を意識した科学技術を題材に、次世代を支える若い人材との対話などを通じ、未来社会のデザインを考えられるよう企画配置を行います。

<国際的な共創を推進するために日本が生かすべき強みなどを共有>



阿部 玲子 氏

マイケル・マトローズ 氏

基調講演では、インドで土木技術者リーダーとして地下鉄整備に挑んだ阿部 玲子 氏(オリエンタルコンサルタンツ インド現地法人 取締役会長)には、「マダム、これが俺たちのメトロだ」と題し、異なるコミュニティや多様なステークホルダーとの「共創」を推進し成功に導いた要因を紹介いただきます。また、欧州で科学と社会をつなぐ場(ユーロサイエンス・オープン・フォーラム(Euro Science Open Forum:ESOF))を主催するユーロサイエンス総裁のマイケル・マトローズ 氏には、変わりゆく欧州情勢を概観しながら、科学コミュニティは社会に何を呼びかけ、どのような変化をもたらしてきたか、これからどうしていくのかについて事例を交えて紹介いただきます。

<人文、社会科学、身体拡張の研究者と企業の目線を取り入れ、ありたい未来を考える>

キーノートセッションでは、身体拡張の研究を行う稲見 昌彦 氏や、人工培養肉の研究者として著名なマーク・ポスト 氏、進化や情動の面から「人間らしさとは」を掘り下げてきた哲学者などを迎え、私たち「人」がどのような存在で、どのような未来を志向するのか、科学技術はどのような役割を果たし得るのかを、さまざまな角度から議論します。

<地域における課題解決に、科学技術を活用した好事例が多数出展>

サイエンスアゴラ2019では多様なステークホルダーと対話しながら、「共」に新たな価値を「創」造する「共創」により、社会課題の解決に取り組んだ好事例を幅広く紹介します。今年から始まった「STI for SDGs」アワードは、数あるSDGs表彰制度の中でも、地域と科学技術に焦点を当てた日本初の取り組みで、第一回の表彰式をサイエンスアゴラ開幕セレモニーに先立って開催します。また、JST 低炭素社会戦略センターが進める低炭素社会へのアプローチや、日本の各地域で課題を抱える当事者が大学などとの共創によって問題を解決する取り組みなど、多様なプロジェクトを概観できます。

<次世代とつくるサイエンスアゴラ>

若手研究者や大学生、中高生によるブースやセッションを含め、科学者との対話、シンポジウム、ワークショップや展示など次世代人材を中心に据えたプログラムを実施します。具体的には、グローバルサイエンスキャンパスの全国受講生研究発表会や、ジュニアドクター育成塾の成果発表会、加えて、1993年から若い才能を育成するために開催されている国際学生対抗バーチャルリアリティコンテストの決勝大会を誘致するなど、未来を担う人材が輝く場づくりを重視しています。

<社会と科学の関係を問う企画から、体験型のプログラムまで幅広く>

SDGs(持続可能な開発目標)の達成に資する科学技術の紹介、AI時代の人のあり方を問う展示やセッション、100年先の社会を考えるワークショップなど、「社会のための科学」という概念を打ち出した「ブダペスト宣言」から20年を迎える今年、改めて科学の意義を問いかける企画が数多く揃いました。

未来のモビリティの乗車体験、年齢や障害を越えてみんなが楽しめるスポーツ体験、各種のワークショップの実施が多数予定されています。また、宇宙の起源に迫る企画や、人口増加に伴う食の問題、ビッグデータと医療の関わり、海洋問題、量子コンピューターの活用、文理選択や意思決定、未来のエネルギーなど、幅広いトピックで、科学と社会の関係を問いかけます。また、女性研究者の活躍を促進するため創設された「輝く女性研究者賞(ジュン アシダ賞)」の表彰式を開催します。

<昨年の基調講演で紹介された「アバター」を体感>

昨年の基調講演では、ANAホールディングスよりテレレジスタンス技術を活用した「ANAアバター」を紹介いただきました。今年はその実機を用いて、遠隔地からアゴラ会場への参加や、会場から遠隔地へ意識の瞬間移動が体験できます。社会課題解決やSDGs達成のために最先端の技術をどのように活用できるのか、その可能性を体感してください。

<サイエンスアゴラ2019のキービジュアルに3DCG女子高生のSayaを起用>



サイエンスアゴラ2019ポスター

今年のサイエンスアゴラでは、初めて「不気味の谷を越えた」として話題になった3DCGの「Saya」をキービジュアルに起用しました。今後は、バーチャルなキャラクターがAIを搭載し、機械と友達になるのが当たり前の時代が来るかもしれません。未来を想起させるSayaと一緒に、これからのHuman(人)や社会のあり方を考えてみませんか。

<サイエンスアゴラ2019開催概要>

日時： 11月15日(金)から17日(日)10時～16時30分

会場： 11月15日(金):日本科学未来館(東京都江東区青海2丁目3-6)

11月16日(土)・17日(日):テレコムセンタービル(東京都江東区青海2丁目5-10)、日本科学未来館、シンボルプロムナード公園ウエストプロムナード

ホームページURL: <https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/>

<添付資料>

▶ 別紙:[サイエンスアゴラ2019について](#)

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構「科学と社会」推進部 サイエンスアゴラ事務局

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

山本 欣司(ヤマモト キンジ)

Tel:03-5214-7493

E-mail:agora@jst.go.jp

[➡ 前に戻る](#)